



## **Cisco Prime License Manager ユーザガイド、リリース 11.0(1)**

初版：2015年05月07日

### **シスコシステムズ合同会社**

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

**【注意】** シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（[www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。



## 目次

### 展開 1

展開オプション 1

要件 2

システム要件 2

ポート要件 2

対応製品 3

対応ロケール 3

サポートされるブラウザ 3

### インストール 5

Cisco Prime License Manager のインストール前のタスク 5

インストール用の情報の収集 6

仮想マシンのインストール 10

Cisco Prime License Manager のインストール 11

Cisco Prime License Manager の削除 13

### アップグレード 15

Cisco Prime License Manager GUI を使用したソフトウェアのアップグレード 15

リモート ファイル システムからのアップグレード 15

ローカル ソースからのアップグレード 16

Cisco Prime License Manager CLI を使用したソフトウェアのアップグレード 17

リモート ソースからのアップグレード 17

ローカル ソースからのアップグレード 19

アップグレード後の作業 20

### 管理 21

初期設定 21

製品インスタンスの追加 21

バックアップ/復元 23

ライセンス定義 23

セキュリティ更新	24
診断ログにアクセスする方法	25
製品インスタンスの管理	26
製品インスタンスの編集	26
製品インスタンスの削除	26
管理者アカウントの設定	26
管理者アカウントの追加	26
OS 管理者パスワードとセキュリティ パスワードのリセット	27
ユーザ クレデンシャルの構成設定	28
クレデンシャル ポリシーの設定	30
クレデンシャル ポリシーの設定	30
<b>ライセンス管理</b>	<b>33</b>
はじめに	33
ライセンス計画の作成	33
既存のライセンスのアップグレード	34
ライセンスの再ホスト	36
Cisco Prime License Manager にライセンスを移行します	37
Cisco Emergency Responder の移行パス	38
電子履行が有効な場合の Cisco Emergency Responder 移行パス	39
電子履行が無効な場合の Cisco Emergency Responder 移行パス	40
Cisco Unified Communications Manager の移行パス	42
Cisco Unity Connection の移行パス	45
Cisco Unified Communications Manager の代替移行パス	48
ライセンスの移行のサポート	50
<b>トラブルシューティング</b>	<b>51</b>
不明なユーザ名とパスワード	51
設定の変更が表示されない	52
不明なエラーの原因	52
製品インスタンスが追加されない	52
製品インスタンスが削除されたが、ライセンスの使用状況データに引き続き表示される	53
製品インスタンスを追加したが、ライセンスの使用状況データに表示されない	53

製品の管理 GUI のライセンス使用状況データが製品インスタンスのビューと一致しない

54

License Manager がコンプライアンス違反を検出した場合に、コンプライアンス違反アラートが表示されない

54

License Manager に製品の超過が表示されない

55

License Manager を別のサーバで復元後、ライセンスが見つからない

55

ライセンスのアップグレードウィザードを使用してシステムをコンプライアンスに準拠

させることができない

55

## Cisco Prime License Manager CLI コマンド 57

はじめに 57

license file 57

license management change user name 58

license management reset user password 59

license management list users 59

license management product re-register all 60

license management reset 60

license management security update 61

license management service 61

license management set log level 62

license management set log level core\_services 62

license management set log level product\_instances 62

license management show log level 63

license management show log level core\_services 63

license management show log level product\_instances 63

license management show system 64

license management system remove 64





## 第 1 章

# 展開

---

- [展開オプション, 1 ページ](#)
- [要件, 2 ページ](#)

## 展開オプション

Cisco Prime License Manager は、以下のいずれかの方法で展開できます。

- 同時運用展開：Cisco Prime License Manager は、Cisco Unified Communications Manager および Cisco Unity Connection のインストールの一環として自動的にインストールされます。共存設定のサーバのいずれかでは Cisco Prime License Manager を実行することもできます。詳細については、プラットフォーム固有のインストールマニュアルの最新リリースを参照してください。
  - [『Installing Cisco Unified Communications Manager』](#)
  - [『Installation Guide for Cisco Unity Connection』](#)
  - [『Installing Cisco Business Edition 6000』](#)
- スタンドアロン展開：Cisco Prime License Manager をインストールするには、次の2つのファイルが必要です。
  - 仮想マシン テンプレート（OVA ファイル）は、Software Download Center から入手できます。
  - ISO ファイルは、Cisco Unified Communications Manager または Cisco Unity Connection の購入後に電子ソフトウェア ダウンロード（ESD）により入手できます。

# 要件

## システム要件

Cisco Prime License Manager のスタンドアロンインスタンスのインストールに使用する仮想マシンテンプレートで定義されているサーバ要件は、次のとおりです。

要件	詳細
バージョン	11.0(1)
CPU	1800 MHz の予約がある vCPU X 1
メモリ	4 GB の予約がある 4 GB (RAM)
ハード ドライブ	1 ~ 50 GB のディスク

## ポート要件

次の表に、Cisco Prime License Manager によって使用されるポートの一覧を示します。自動ライセンス履行機能を使用する場合は、Cisco Prime License Manager が直接インターネットに発信アクセスすることを許可する必要があります。

説明	プロトコル	着信ポート	発信ポート
ブラウザ HTTP	TCP	80/8080、443/8443	該当なし
SSH/SFTP	TCP	22	該当なし
接続を開始するクライアントのエフェメラルポート範囲	TCP、UDP	32768 ~ 61000	該当なし
DNS 名前解決	TCP、UDP	該当なし	53
製品インスタンスと電子履行のためのシスコライセンスポータルに接続	TCP	該当なし	80、8080、443、8443 (HTTP および HTTPS)
DRS	TCP	該当なし	22 (SSH/SFTP)

説明	プロトコル	着信ポート	発信ポート
DHCP クライアント	UDP	該当なし	67
NTP クライアント	TCP、UDP	該当なし	123

## 対応製品

Cisco Prime License Manager は次の製品をサポートしています。

- Cisco Unified Communications Manager
- Cisco Unity Connection
- Cisco Emergency Responder

## 対応ロケール

次のロケールは、Cisco Prime License Manager でサポートされています。

- 英語（デフォルト）
- 日本語
- 中国語（簡体字）
- 韓国語
- 中国語（繁体字）
- ドイツ語
- フランス語（フランス）
- イタリア語
- スペイン語（スペイン）
- スペイン語（ラテンアメリカ）：スペイン語（コロンビア）とも呼ばれます
- ポルトガル語（ブラジル）
- オランダ語（オランダ）
- ロシア語

## サポートされるブラウザ

次の表は、Cisco Prime License Manager のブラウザのサポートを定義します。

ブラウザ	ブラウザのバージョン	Windows OS		Apple OS
		Win 8	Win 7 (32 および 64 ビット)	OSX 10.8
<b>Firefox</b>	FF 17 ~ 33	サポート対象	サポート対象	サポート対象
<b>Chrome</b>	Chrome 23 ~ 24	サポート対象	サポート対象	サポート対象
	Chrome 22	サポート対象	サポート対象	サポート対象
<b>Safari</b>	Safari 6.0 ~ 6.1	未サポート	未サポート	サポート対象
<b>Internet Explorer</b>	IE 9 ~ 10	サポート対象	サポート対象	該当なし
	IE 8	未サポート	セカンダリ	該当なし



(注) 現在サポートされていないブラウザおよびオペレーティング システムは、Opera、Linux OS、Google Chrome OS です。



## 第 2 章

# インストール

---

- [Cisco Prime License Manager のインストール前のタスク, 5 ページ](#)
- [インストール用の情報の収集, 6 ページ](#)
- [仮想マシンのインストール, 10 ページ](#)
- [Cisco Prime License Manager のインストール, 11 ページ](#)
- [Cisco Prime License Manager の削除, 13 ページ](#)

## Cisco Prime License Manager のインストール前のタスク

インストール前のタスクをすべて実行して、Cisco Prime License Manager を正常にインストールできるようにします。

### 手順

---

- ステップ 1** システム要件を確認し、アプリケーションをホストするサーバに十分なリソースがあることを確認します。
  - ステップ 2** 現在のリリースに推奨される Cisco Prime License Manager 仮想サーバテンプレート（OVA ファイル）を使用して仮想マシンを作成します。
  - ステップ 3** VMware の導入には NTP サーバが必要なため、NTP サーバがアクセス可能であることを確認します。
  - ステップ 4** Cisco Prime License Manager に使用する予定のホスト名とアドレスがネームサーバに登録されていること、および前方参照と逆引き参照が両方とも可能であることを確認します。
-

## インストール用の情報の収集

次の表に従って、お使いのシステムおよびネットワークに関連する情報を収集します。

表 1: サーバの設定データ

パラメータ	説明	インストール後のエントリ変更の可否
タイムゾーン	<p>ローカルタイムゾーンおよびグリニッジ標準時 (GMT) との時差を指定します。</p> <p>マシンが設置されている場所に最も近い時間帯を選択します。</p>	<p>可。インストール後、次の CLI コマンドを使用してエントリを変更できます。</p> <pre>set timezone</pre> <p>現在のタイムゾーン設定を表示するには、次の CLI コマンドを使用します。</p> <pre>show timezone config</pre>
MTU サイズ	<p>MTU (Maximum Transmission Unit) は、このホストがネットワークで転送する最大パケットをバイト単位で表します。</p> <p>使用するネットワークの MTU サイズをバイト単位で入力します。ネットワークの MTU 設定が不明な場合は、デフォルト値を使用します。</p> <p>デフォルトでは 1500 バイトが指定されます。</p>	<p>可。インストール後、次の CLI コマンドを使用してエントリを変更できます。</p> <pre>set network mtu</pre>
DHCP	<p>Cisco Prime License Manager にはスタティック IP アドレスが必要です。したがって、[DHCP] オプションに対して [いいえ (No)] を選択し、ホスト名、IP アドレス、IP マスク、ゲートウェイを入力することを推奨します。</p>	<p>不可。インストール後、エントリを変更してはなりません。</p>

パラメータ	説明	インストール後のエントリ変更の可否
ホストネーム	<p>サーバに対する一意のホスト名を入力します。</p> <p>ホスト名は最大32文字で、英数字とハイフンを使用できます。ただし、最初の文字をハイフンにすることはできません。</p>	<p>可。インストール後、エントリを変更できます。</p> <pre>set network hostname</pre> <p>(注) タスクの実行中には、ホスト名を変更しないでください。</p>
IP マスク	<p>このマシンのIPサブネットマスクを入力します。</p>	<p>可。インストール後、次のCLIコマンドを使用してエントリを変更できます。</p> <pre>set network ip eth0</pre>
ゲートウェイ アドレス	<p>ネットワーク ゲートウェイのIPアドレスを入力します。</p> <p>ゲートウェイがない場合も、このフィールドを 255.255.255.255 に設定する必要があります。ゲートウェイがないと、Cisco Prime License Manager はサブネットの外側と通信できないため、電子履行を使用できません。</p>	<p>可。インストール後、次のCLIコマンドを使用してエントリを変更できます。</p> <pre>set network gateway</pre>
DNS 有効	<p>DNSサーバがホスト名をIPアドレスへ、またはIPアドレスをホスト名へ解決します。</p> <p>[はい (Yes) ]を選択して、DNSを有効にします。これにより、電子履行が正常に機能します。</p>	<p>不可。インストール後、エントリを変更してはなりません。</p>
DNS プライマリ	<p>プライマリ DNSサーバとして指定するDNSサーバのIPアドレスを入力します。IPアドレスは、ドット付き10進表記(ddd.ddd.ddd.ddd)で入力します。</p>	<p>可。インストール後、次のCLIコマンドを使用してエントリを変更できます。</p> <pre>set network dns</pre> <p>DNSとネットワーク情報を表示するには、次のCLIコマンドを使用します。</p> <pre>show network eth0 detail</pre>

パラメータ	説明	インストール後のエントリ変更の可否
DNS セカンダリ (省略可能)	オプションのセカンダリ DNS サーバとして指定する DNS サーバの IP アドレスを入力します。	可。インストール後、次の CLI コマンドを使用してエントリを変更できます。  <code>set network dns</code>
管理者 ID	Cisco Prime License Manager の CLI へのセキュアシェルアクセスに使用する OS 管理者アカウントのユーザ名とパスワードを指定します。	不可。インストール後、エントリは変更できません。  (注) インストール後、管理者アカウントを追加作成することはできますが、元の管理者アカウントユーザ名は変更できません。
OS 管理者パスワード	CLI へのセキュアシェルアクセスに使用する、管理者アカウントのパスワードを指定します。  このパスワードは、 <b>adminsftp</b> ユーザが使用することもできます。 <b>adminsftp</b> ユーザは、ローカルバックアップファイルへのアクセスやサーバライセンスのアップロードなどに使用します。  強力なパスワードに関するガイドラインについては、該当するパスワードセクションを参照してください。	可。インストール後、次の CLI コマンドを使用してエントリを変更できます。  <code>set password user admin</code>

パラメータ	説明	インストール後のエントリ変更の可否
証明書パラメータ	<p>リストから、インストールに適切な組織、部門、場所、都道府県を選択します。</p> <p>(注) このフィールドを使用して、複数の組織ユニットを入力できます。複数の組織ユニット名を入力するには、各エントリをカンマで区切ります。カンマを含むエントリは、エントリ内のカンマの前にバックスラッシュを入力します。</p>	<p>可。インストール後、次のCLIコマンドを使用してエントリを変更できます。</p> <pre>set web-security</pre>
NTP サーバ	<p>同期する 1 台または複数のネットワーク タイム プロトコル (NTP) サーバのホスト名または IP アドレスを入力します。</p> <p>最大 5 台の NTP サーバを入力できます。</p> <p>(注) 発生する可能性のある互換性の問題、精度の問題、およびネットワーク ジッターの問題を回避するには、プライマリ ノードに指定する外部 NTP サーバが NTP v4 (バージョン 4) にします。IPv6 アドレッシングを使用している場合は、外部 NTP サーバが NTP v4 である必要があります。</p>	<p>可。インストール後、エントリを変更できます。</p> <pre>utils ntp server</pre>

パラメータ	説明	インストール後のエントリ変更の可否
セキュリティ パスワード	セキュリティ パスワードを入力します。 このパスワードは、6文字以上の英数字にする必要があります。パスワードにはハイフンおよび下線を使用できますが、先頭は英数字にする必要があります。	可。インストール後、次のCLIコマンドを使用してエントリを変更できます。 <code>set password user security</code>
Cisco Prime License Manager アプリケーションアカウントのユーザ名	Cisco Prime License Manager の GUI へのログインに使用する Cisco Prime License Manager アプリケーションアカウントのユーザ名を指定します。	可。インストール後、次のCLIコマンドを使用してエントリを変更できます。 <code>license management change user name</code>
Cisco Prime License Manager アプリケーションパスワード	Cisco Prime License Manager の GUI へのセキュアシェルアクセスに使用する Cisco Prime License Manager アプリケーションアカウントのパスワードを指定します。	可。インストール後、次のCLIコマンドを使用してエントリを変更できます。 <code>license management change user password</code>

## 仮想マシンのインストール

仮想マシンをインストールするには、次の手順を使用します。また、VMware のマニュアルを参照してください。

### 手順

- ステップ 1** [ソフトウェアダウンロードセンター](#)にアクセスし、[ダウンロードホーム (Downloads Home) ]> [製品 (Products) ]> [クラウドおよびシステム管理 (Cloud and Systems Management) ]> [Collaboration および Unified Communications Management (Collaboration and Unified Communications Management) ]

> [Cisco Prime License Manager] を選択して、目的のリリースの Cisco Prime License Manager OVA テンプレートをダウンロードします。

- ステップ 2** vCenter または vSphere クライアントから、新しくダウンロードした仮想マシンテンプレートのコンソールを開きます。
- ステップ 3** vCenter または vSphere クライアントから [ファイル (File)] > [OVF テンプレートの導入 (Deploy OVF Template)] を選択します。
- ステップ 4** [OVF テンプレートの導入 (Deploy OVF Template)] ウィザードに従って、Cisco Prime License Manager 仮想マシンを作成します。  
インストールが完了すると、新しくインストールされた仮想マシンが vCenter または vSphere クライアント内の選択した場所に表示されます。

## Cisco Prime License Manager のインストール

### はじめる前に

#### 仮想マシンのインストール

#### 手順

- ステップ 1** シスコの電子ソフトウェア配信から ISO インストールファイルをダウンロードするか、注文品に付属している DVD を探します。vCenter または vSphere クライアントを使用して、ホストのデータストアに ISO イメージをコピーします。
- ステップ 2** vCenter または Sphere クライアントを使用して、[仮想マシン設定の編集 (Edit virtual machine settings)] > [ネットワークアダプタ 1 (Network adapter 1)] > [MAC アドレス (MAC Address)] を選択します。
- ステップ 3** [手動 (Manual)] オプションを選択し、一義的な MAC アドレスを入力します。  
Cisco Prime License Manager のスタンドアロンインストールには、スタティック MAC アドレスだけが仮想マシンでサポートされています。
- ステップ 4** [CD/DVD ドライブ 1 (CD/DVD Drive 1)] を編集します。[電源投入時に接続 (Connect at power on)] を選択し、保存されている場所 (データストア、または物理 DVD を使用する場合はホストデバイス) から ISO インストールファイルを選択します。
- ステップ 5** vCenter または vSphere クライアントから、仮想マシンのコンソールを開きます。
- ステップ 6** 仮想マシンの電源をオンにします。インストールが自動的に開始されます。
- ステップ 7** ISO ファイルを使用する場合は、[検出されたディスク (Disc Found)] 画面で [スキップ (Skip)] をクリックして、インストール前のメディアテストをスキップします。それ以外の場合は、[OK] タブを選択して Enter キーを押し、インストール前のメディアテストを開始します。

[メディアが見つかりました (Media Found)] 画面に、「ローカルインストールメディアが見つかりました (Found local installation media)」というメッセージが表示されます。

**ステップ 8** [製品展開の選択 (Product Deployment Selection)] 画面が表示されます。製品を選択し (選択可能な製品が 1 つのみの場合もあります)、[OK] をクリックしてインストールを続行します。

**ステップ 9** [はい (Yes)] をクリックします。

**ステップ 10** インストールを続行するには、[続行 (Proceed)] を選択します。

**ステップ 11** [続行 (Continue)] をクリックします。

**ステップ 12** [タイムゾーン設定 (Timezone Configuration)] 画面で、タイムゾーンを選択して [OK] をクリックします。

**ステップ 13** [自動ネゴシエーションの設定 (Auto Negotiation Configuration)] 画面で、[続行 (Continue)] を選択します。

**ステップ 14** OS デフォルトの MTU サイズを変更するかどうかを尋ねられたら、[No (いいえ)] をクリックして続行します。

**ステップ 15** ネットワーク設定では、[いいえ (No)] を選択して、ノードのスタティック ネットワーク IP アドレスを設定します。

**ステップ 16** 次のスタティック ネットワークの設定値を入力します。

- ホスト名 (Host Name)
- IP アドレス (IP Address)
- IP マスク (IP Mask)
- GW アドレス (GW Address)

[OK] をクリックします。ステップ 14 に進みます。

**ステップ 17** [DNS クライアント設定 (DNS Client Configuration)] 画面が表示されます。DNS を有効にするには [はい (Yes)] をクリックしてから、DNS クライアントの情報を入力して [OK] をクリックします。

**ステップ 18** 管理者のログイン情報およびパスワード情報を入力します。

(注) 管理者ログインは、先頭がアルファベットで 6 文字以上必要です。英数字、ハイフン、およびアンダースコアを使用できます。コマンドライン インターフェイスにログインするには、管理者ログインが必要です。

**ステップ 19** [認証情報 (Certificate Information)] ウィンドウが表示されます。証明書情報を入力します。

- 組織 (Organization)
- 部門 (Unit)
- 参照先 (Location)
- 都道府県 (State)
- 国 (Country)

[OK] をクリックして続行します。

**ステップ 20** [ネットワーク タイム プロトコル クライアント 設定 (Network Time Protocol Client Configuration) ] 画面が表示されます。NTP サーバ情報を入力します。

(注) DNS クライアントが有効になっていない場合は、IP アドレスを使用します。DNS が有効な場合は、ホスト名または IP アドレスを入力できます。

[OK] をクリックして続行します。

**ステップ 21** 要求に応じて、セキュリティ パスワードを入力します。[OK] をクリックして、先へ進みます。

**ステップ 22** [アプリケーション ユーザ の設定 (Application User Configuration) ] 画面が表示されます。ユーザ名とパスワードを入力し、Cisco Prime License Manager にログインします。[OK] をクリックします。

**ステップ 23** [プラットフォーム 設定 の確認 (Platform Configuration Confirmation) ] 画面が表示されます。[OK] をクリックして設定を完了し、インストールを開始します。

インストールが完了するまでに約 30 分かかります。

(注) インストール エラーがある場合、コンソールは必要に応じて USB キーにインストール ログをエクスポートするように指示します。

## Cisco Prime License Manager の削除

共存配置では、使用していない Cisco Prime License Manager を削除することができます。たとえば、Cisco Unified Communications Manager のクラスタでは、Cisco Prime License Manager はパブリック ノードとサブスクリバ ノードにインストールされています。すべてのノードのライセンスを管理するために Cisco Prime License Manager をアクティブにする必要があるのは単一のノードのみであるため、Cisco Prime License Manager が非アクティブな状態になっているノードからは削除することができます。



(注) サーバに関連するすべてのサービスに影響を及ぼすために、システムのリブートが必要になります。Cisco Prime License Manager の削除は、オフピーク時に行うことを推奨します。

Cisco Prime License Manager を削除した後も、アプリケーションへのログイン時に Cisco Prime License Manager へのリンクが引き続き表示されますが、Cisco Prime License Manager にアクセスを試みると日付と時刻のスタンプとともに削除が通知されます。



**注意** Cisco Prime License Manager を削除後に復元することはできません。

### 手順

**ステップ 1** コマンドラインインターフェイスから次のコマンド、**license management system remove** を入力します。

Cisco Prime License Manager がすでに削除されている場合は、このコマンドを利用できないことに注意してください。

- ステップ 2 y と入力し、削除を続行することを確認します。
  - ステップ 3 システムのリブートを実行します。
-



## 第 3 章

# アップグレード

---

- [Cisco Prime License Manager GUI を使用したソフトウェアのアップグレード, 15 ページ](#)
- [Cisco Prime License Manager CLI を使用したソフトウェアのアップグレード, 17 ページ](#)
- [アップグレード後の作業, 20 ページ](#)

## Cisco Prime License Manager GUI を使用したソフトウェアのアップグレード

COP ファイルを使用して、ソフトウェアをアップグレードしたりパッチを適用することができます。Cisco Prime License Manager GUI を使用してソフトウェアをアップグレードするには、以下のいずれかのオプションを使用します。

- リモート ファイル システムからのアップグレード
- ローカル ソースからのアップグレード

### リモート ファイル システムからのアップグレード

FTP または SFTP サーバからソフトウェアをアップグレードするには、次の手順を実行します。

#### はじめる前に

Cisco Prime License Manager から アクセスできる FTP サーバに、アプリケーション ISO ファイルをコピーします。

#### 手順

- 
- ステップ 1** Cisco Prime License Manager のメインメニューから、[管理 (Administration)] > [インストール/アップグレード (Install/Upgrade)] を選択します。

- [インストール/アップグレード (Install/Upgrade) ] ページが開きます。
- ステップ 2** [ソフトウェアのインストール/アップグレード (Install/Upgrade Software) ] をクリックします。  
[ソフトウェアのインストール/アップグレード (Install/Upgrade Software) ] ダイアログボックスが開きます。
- ステップ 3** [ネットワークからのインストール/アップグレード (Install/Upgrade from Network) ] をクリックします (デフォルトでは、このオプションが選択されています)。  
次の情報を入力します。
- IP アドレス/ホスト名
  - ユーザ名
  - パスワード
  - ディレクトリ (ISO を配置した場所へのパス)
  - 転送プロトコル (ドロップダウンメニューから [FTP] または [SFTP] を選択)
- ステップ 4** [次へ (Next) ] をクリックします。
- ステップ 5** この表には、すべての有効なアップグレードがリスト表示されています。必要なアップグレードファイルをリストから選択します。  
(注) 複数のオプションがリストされる場合があります。
- ステップ 6** [インストール/アップグレードの開始 (Start Installation/Upgrade) ] をクリックします。アップグレードの確認を求めるメッセージが表示されます。アップグレードを開始するには、[続行 (Continue) ] をクリックします。  
(注) アップグレードの進行中は、アップグレードの進行状態に関するフィードバックが提供されるため、画面を離れることも、ブラウザを閉じることもできます。ブラウザを閉じても、アップグレードは続行されます。アップグレードが完了するまでには 45 分から 1 時間かかります。
- 

## ローカルソースからのアップグレード

### はじめる前に

仮想マシンのメディアソースを定義します。たとえば、データストアの ISO ファイルまたはクライアントやホストの物理光ドライブがメディアソースになります。VM CD/DVD ドライブの [接続済み (Connected) ] チェックボックスをオンにします。

## 手順

- ステップ 1 Cisco Prime License Manager のメインメニューから、[管理 (Administration)] > [インストール/アップグレード (Install/Upgrade)] を選択します。
- ステップ 2 [ソフトウェアのインストール/アップグレード (Install/Upgrade Software)] をクリックします。
- ステップ 3 [Cisco Prime License Manager サーバの DVD/CD ドライブからのインストール/アップグレード (Install/Upgrade from DVD/CD drive on Cisco Prime License Manager server)] をクリックします。
- ステップ 4 この表には、すべての有効なアップグレードがリスト表示されています。適切な (有効な) アップグレード ファイルをリストから選択します。
- ステップ 5 [インストール/アップグレードの開始 (Start Installation/Upgrade)] をクリックします。
- ステップ 6 アップグレードを開始するには、[続行 (Continue)] をクリックします。  
(注) アップグレードの進行中に画面を離れることも、ブラウザを閉じることもできます。ブラウザを閉じて、アップグレードプロセスには影響しません。アップグレードが完了するまでには 45 分から 1 時間かかります。

# Cisco Prime License Manager CLI を使用したソフトウェアのアップグレード

COP ファイルを使用して、ソフトウェアをアップグレードしたりパッチを適用することができます。CLI コマンドを使用してローカルソースまたはリモートソースからアップグレードを開始するには、次の手順を実行します。

## リモートソースからのアップグレード

FTP サーバからソフトウェアをアップグレードするには、次の手順を実行します。この手順で使用するソフトウェアバージョンは例であることに注意してください。最新のソフトウェアバージョンについては、該当する『*Release Notes for Cisco Prime License Manager*』を参照してください。

### はじめる前に

この手順を開始する前に、Cisco Prime License Manager からアクセス可能なネットワーク ロケーションまたはリモート ドライブに ISO を配置する必要があります。

## 手順

- ステップ 1 次の例に示すように、`utils system upgrade initiate` コマンドを入力します。

**例 :**

```
admin:utils system upgrade initiate
```

次のオプションが表示されます。

```
Warning: Do not close this window without first canceling the upgrade.
```

```
Source:
```

```
1) Remote Filesystem via SFTP
```

```
2) Remote Filesystem via FTP
```

```
3) Local DVD/CD
```

```
q) quit
```

```
Please select an option (1 - 3 or "q" ):
```

**ステップ 2** オプションの 1 または 2 を選択します。

**ステップ 3** プロンプトが表示されたら、ディレクトリ、サーバ、ユーザ名、パスワード情報を入力します。

```
Directory: /software/PLM/10.0.0.98030-1
```

```
Server: ftp.mycompany.com
```

```
User Name: bsmith
```

```
Password: *****
```

```
Checking for valid upgrades. 少々お待ちください。
```

**ステップ 4** アップグレードが完了したら、電子メール通知を受信するには、SMTP ホスト サーバを入力します (任意)。

次のオプションが表示されます。

```
Available options and upgrades in "se032c-94-61:/software/PLM/10.0.0.98030-1":
```

```
1) CiscoPrimeLM_64bitLnx_10.0.0.98030-1.sgn.iso
```

```
q) quit
```

**ステップ 5** オプション 1 を選択し、アップグレード ファイルをダウンロードします。

```
Accessing the file. Please wait...
```

```
Validating the file...
```

```
Downloaded 935 MB.
```

```
Checksumming the file...
```

```
A system reboot is required when the upgrade process completes or is canceled. This will ensure services affected by the upgrade process are functioning properly.
```

```
Downloaded: CiscoPrimeLM_64bitLnx_10.0.0.98030-1.sgn.iso
```

```
File version: 10.0.0.98030-1
```

```
File checksum: c4:13:ad:95:7b:c8:c1:01:1b:91:bb:da:8d:84:09:ea
```

**ステップ 6** アップグレードに成功した場合にバージョンを自動的に切り替えるかどうかを確認するメッセージが表示されたら、yes と入力します。

```
Automatically switch versions if the upgrade is successful (yes/no): yes
```

- ステップ 1** インストールを開始するには、yes と入力します。  
Start installation (yes/no): yes
- 

## ローカルソースからのアップグレード

FTP サーバからソフトウェアをアップグレードするには、次の手順を実行します。この手順で使用するソフトウェアバージョンは例であることに注意してください。最新のソフトウェアバージョンについては、該当する『*Release Notes for Cisco Prime License Manager*』を参照してください。

### はじめる前に

仮想マシンのメディアソースを定義します。たとえば、データストアの ISO ファイルまたはクライアントやホストの物理光ドライブがメディアソースになります。VM CD/DVD ドライブの [接続済み (Connected) ] チェックボックスをオンにします。

### 手順

---

- ステップ 1** 新しい DVD をアップグレードするローカルサーバのディスク ドライブに挿入します。  
**ステップ 2** 次の例に示すように、utils system upgrade initiate コマンドを入力します。

#### 例：

```
admin:utils system upgrade initiate
```

次のオプションが表示されます。

```
Warning: Do not close this window without first canceling the upgrade.
```

```
Source:
```

```
1) Remote Filesystem via SFTP
```

```
2) Remote Filesystem via FTP
```

```
3) Local DVD/CD
```

```
q) quit
```

```
Please select an option (1 - 3 or "q" ):
```

- ステップ 3** オプション 3 を選択します。  
**ステップ 4** オプション 1 を選択し、アップグレードファイルをダウンロードします。  
Accessing the file. Please wait...  
Validating the file...  
Downloaded 935 MB.  
Checksumming the file...

```
A system reboot is required when the upgrade process completes or is canceled. This will ensure services affected by the upgrade process are functioning properly.
```

```
Downloaded: CiscoPrimeLM_64bitLnx_10.0.0.98030-1.sgn.iso
```

```
File version: 10.0.0.98030-1
```

```
File checksum: c4:13:ad:95:7b:c8:c1:01:1b:91:bb:da:8d:84:09:ea
```

**ステップ 5** アップグレードに成功した場合にバージョンを自動的に切り替えるかどうかを確認するメッセージが表示されたら、**yes** と入力します。

```
Automatically switch versions if the upgrade is successful (yes/no): yes
```

**ステップ 6** インストールを開始するには、**yes** と入力します。

```
Start installation (yes/no): yes
```

---

## アップグレード後の作業

アップグレードの完了後に、次の作業を実行してください。

- [バージョン情報 (About) ]ボックスのバージョン番号を確認し、予想どおりの番号であることを確かめます。
- [製品インスタンス (Product Instances) ]> [今すぐ同期 (Synchronize Now) ]を選択して同期を実行します。
- [ダッシュボード (Dashboard) ]でアラートがないことを確認し、[管理 (Administration) ]> [バックアップ/復元 (Backup/Restore) ]を選択してバックアップを実行します。



# 第 4 章

## 管理

---

- [初期設定, 21 ページ](#)
- [バックアップ/復元, 23 ページ](#)
- [ライセンス定義, 23 ページ](#)
- [セキュリティ更新, 24 ページ](#)
- [診断ログにアクセスする方法, 25 ページ](#)
- [製品インスタンスの管理, 26 ページ](#)
- [管理者アカウントの設定, 26 ページ](#)

## 初期設定

Cisco Prime License Manager の使用を開始する場合、次の手順に従います。

- Cisco Prime License Manager にログインします。 [ログイン](#)を参照してください。
- 製品インスタンスを追加します。 [製品インスタンスの追加, \(21 ページ\)](#) を参照してください。

## 製品インスタンスの追加

次の手順では、Cisco Prime License Manager で製品インスタンスを追加する方法を説明します。

### はじめる前に

システムをアップグレードする前に、新バージョンにアップグレードする以前に購入したライセンスが、製品インスタンスの古いバージョンにすべてインストールされていることを確認します。これにより、これらのライセンスが移行の対象になります。

Cisco Prime License Manager に Cisco Unified Communications Manager インスタンスを追加する前に、**accountlocking** の設定が **disabled** になっていることを確認します。これによって、製品イン

スタンスを追加するときに 401 エラーを回避できます。 コマンド **show accountlocking** を使用して、アカウントのステータスを確認します。

## 手順

- 
- ステップ 1** インストールが完了したら、作成したアプリケーションユーザ名とパスワードを使用して Cisco Prime License Manager にログインします。
- ステップ 2** [製品インスタンス (Product Instances) ] を選択します。
- ステップ 3** [追加 (Add) ] をクリックします。 [製品の追加 (Product Add) ] ダイアログボックスが表示されます。
- ステップ 4** 次の情報を入力します。

- 名前 (Name)
- 説明 (Description) (任意)
- 製品のタイプ (Product Type)
- ホスト名/IP アドレス (Hostname/IP Address)
- ユーザ名 (Username)
- パスワード (Password)

(注) クレデンシャルとは、製品の OS 管理者のユーザ名とパスワードのことです。

- ステップ 5** [OK] をクリックして、製品インスタンスを追加します。
- ステップ 6** 製品インスタンスが追加された時点で、製品が [製品インスタンス (Product Instances) ] テーブルに表示されます。

(注) [製品インスタンス (Product Instances) ] ページで [今すぐ同期 (Synchronize Now) ] をクリックし、新しい製品のライセンス情報を要求します。同期させないと、次のスケジュールされた同期が完了するまで、Cisco Prime License Manager に最新の製品インスタンス情報が表示されません。



- 
- (注) Cisco Prime License Manager にライセンスがまだ移行されていないすべての製品インスタンスの [ステータス (Status) ] フィールドに [移行可能なライセンスを含む (Contains Migratable Licenses) ] が表示されます。製品インスタンスにインストール可能なすべてのライセンスを Cisco Prime License Manager で使用できるようにするには、これらのライセンスを移行する必要があります。ライセンスの移行については、[Cisco Prime License Manager にライセンスを移行します](#), (37 ページ) を参照してください。
-

## バックアップ/復元

Cisco Prime License Manager のバックアップと復元を実行するには、次の手順に従います。アップグレードの直前とアップグレードが成功した直後に、バックアップを実行することを推奨します。

### 手順

- 
- ステップ 1** メインメニューで、[管理 (Administration)] > [バックアップ/復元 (Backup/Restore)] を選択します。
- ステップ 2** [バックアップ/復元 (Backup/Restore)] ページが開きます。次の情報を入力します。
- IP アドレス/ホスト名 (IP Address/Hostname)
  - [ユーザ名 (Username)]
  - [パスワード (Password)]
  - [ディレクトリ (Directory)]
- (注) この時点で、[テスト接続 (Test Connection)] をクリックして接続をテストすることもできます。
- ステップ 3** バックアップを実行するには、[バックアップの実行 (Run Backup)] をクリックします。
- (注) 最大2つのバックアップが保存されます。3つ目のバックアップを作成すると、最も古いバックアップが上書きされます。
- ステップ 4** 復元するには、復元するファイルを選択して [復元の実行 (Run Restore)] をクリックします。
- 

## ライセンス定義

ライセンス定義には、Cisco Prime License Manager により管理されるライセンスのタイプに関する情報が含まれています。ご使用の製品インスタンスを新しいバージョンにアップグレードする前、または新しいタイプの製品インスタンスを追加する前に、これらの定義を更新する必要があります。[管理 (Administration)] > [ライセンス定義 (License Definitions)] ウィンドウに、現在インストールされているライセンス定義ファイルに関する次の情報が表示されます。

- ファイル名 (File name)
- バージョン (Version)
- インストール日 (Date Installed)

「Download Software」サイトにアクセスするには、[最新バージョンを確認 (Check for Latest Version)] リンクをクリックできます。このサイトから、最新リリースを探してダウンロードできます。

ダウンロード後は、次の手順を使用して新しいライセンス定義ファイルをインストールすることができます。

### 手順

- 
- ステップ 1 [管理 (Administration) ]>[ライセンス定義 (License Definitions) ]を選択し、メインメニューから [ライセンス定義 (License Definitions) ]ウィンドウにアクセスします。
  - ステップ 2 [新しいライセンス定義ファイルのインストール (Install New License Definition File) ]をクリックします。
  - ステップ 3 [参照 (Browse) ]をクリックして、ダウンロードしたライセンス定義ファイルを選択し、[インストール (Install) ]をクリックします。
- 

## セキュリティ更新

Cisco License Office との電子操作を許可するために、Cisco Prime License Manager で定期的にセキュリティ更新が必要になることがあります。

次のように選択して、<https://software.cisco.com> で目的のリリースのセキュリティアップデートを入手できます：[ダウンロードホーム (Downloads Home) ]>[製品 (Products) ]>[クラウドおよびシステム管理 (Cloud and Systems Management) ]>[CollaborationおよびUnified Communications Management (Collaboration and Unified Communications Management) ]>[Cisco Prime License Manager]。アラートの受信を登録することもできます。

CLI を介してセキュリティ更新を実行するには、次の手順に従います。

### 手順

- 
- ステップ 1 **license management security update** コマンドを入力します。
  - ステップ 2 プロンプトが表示されたら、次の例に示すようにディレクトリ、サーバ、ユーザ名、およびパスワード情報を入力します。

```
例：
Directory:
  /users/bsmith/security_update/update
Server:
  se032c-94-61
User Name:
  bsmith
Password:
  *****
```

- ステップ 3 次の例に示すように、ターゲットディレクトリにある選択可能なオプションからセキュリティ更新を選択するよう求められます。

例 :

```
Available
  options for security update in
  "se032c-94-61:/users/bsmith/security_update/update":
1)  SecUpd_v1.upd
q)  quit
```

- ステップ 4** リストから該当するファイルを選択して、セキュリティ更新をダウンロードします。次のメッセージが表示されます。

例 :

```
Installing
  security update...
Continue
  (y/n)?
```

- ステップ 5** **y**を入力し、セキュリティ更新を続行します。更新が完了すると、次のメッセージが表示されます。

```
Security
  update installed.
```

## 診断ログにアクセスする方法

次の手順を使用して、Cisco Prime License Manager で診断ログを実行します。

### 手順

- ステップ 1** Cisco Prime License Manager のメインメニューから、[管理 (Administration)] > [診断ログ (Diagnostic Logs)] を選択します。
- ステップ 2** [診断ログ (Diagnostic Logs)] 画面が表示されます。[ログの設定 (Log Settings)] タブで、[Cisco Prime License Manager コア サービス (Cisco Prime License Manager core services)] と [製品インスタンスとの通信 (Communication with product instances)] の両方に対してログ レベルを [デバッグ (Debug)] に設定します。[Save (保存)] をクリックして変更内容を保存します。
- ステップ 3** [ログのダウンロード (Download Logs)] タブを選択し、ログファイルに含める日時範囲 (問題が発生した期間) を選択します。[ログ ファイルの作成 (Generate Log File)] をクリックします。
- ステップ 4** [ログ ファイルの作成 (Generate Log File)] ボタンの下に、ログ ファイルへのリンクが表示されます。リンクをクリックしてログファイルをコンピュータにダウンロードし、TAC Service Request Tool を使用してサービス要求を作成します。 <https://tools.cisco.com/ServiceRequestTool/scm/mgmt/case>

# 製品インスタンスの管理

## 製品インスタンスの編集

次の手順では、Cisco Prime License Manager で製品インスタンスを編集する方法を説明します。

### 手順

- 
- ステップ 1** 製品インスタンスを編集するには、[製品インスタンス (Product Instances)] テーブルからインスタンスを選択します。
- ステップ 2** [製品インスタンス (Product Instance)] 詳細ページの [一般 (General)] タブで、製品インスタンスの推奨設定を編集します。
- 重要** 製品インスタンスのホスト名または IP アドレスを変更する場合は、ホスト名または IP アドレスを変更する前に、Cisco Prime License Manager から製品インスタンスを削除する必要があります。ホスト名または IP アドレスの変更が完了した時点で、製品インスタンスを Cisco Prime License Manager に再び追加できます。
- 

## 製品インスタンスの削除

### 手順

- 
- ステップ 1** 削除する製品インスタンスの [操作 (Action)] 列で [削除 (Delete)] をクリックします。
- ステップ 2** 正常に削除されたら [今すぐ同期 (Synchronize Now)] をクリックし、システムの全ライセンスタイプに関する最新のライセンス情報を取得します。
- 

# 管理者アカウントの設定

## 管理者アカウントの追加

インストール時に最初に作成されるアカウントが、マスター アカウントとなります。マスター アカウントには、以下の特殊な権限が割り当てられます。

- マスター アカウントは、管理者アカウントを作成または削除できる唯一のアカウントです。
- マスター アカウントは、クレデンシャル ポリシーを変更できる唯一のアカウントです。

新しい管理者アカウントを追加するには、次の手順に従います。

#### 手順

- 
- ステップ 1 マスター アカウントを使用して Cisco Prime License Manager にログインします。
  - ステップ 2 Cisco Prime License Manager のメインメニューから、[管理 (Administration)] > [管理者アカウント (Administration Accounts)] を選択します。
  - ステップ 3 [管理者を追加 (Add Administrator)] を選択します。
  - ステップ 4 必要に応じて、[名前 / 説明 (Name/Description)] フィールドに名前または説明を追加します。
  - ステップ 5 ユーザ名を入力します。
  - ステップ 6 パスワードを入力して確認します。  
システムがパスワードの強固さを評価します。
- 

## OS 管理者パスワードとセキュリティパスワードのリセット

システムパスワードをリセットするには、システムコンソールからシステムに接続する必要があります。システムにセキュアシェルセッション経由で接続している状態ではパスワードをリセットできません。



- (注) この手順中、物理的にシステムにアクセスできることを確認するために、有効な CD または DVD をディスク ドライブから取り出し、再挿入する必要があります。
- 

#### 手順

- 
- ステップ 1 次のユーザ名とパスワードを使用してシステムにログインします。
    - ユーザ名 : pwrecovery
    - パスワード : pwreset[プラットフォームパスワードのリセットへようこそ (Welcome to platform password reset)] ウィンドウが表示されます。
  - ステップ 2 何かキーを押して続行します。
  - ステップ 3 ディスク ドライブに CD または DVD が入っている場合は、ここで取り出します。
  - ステップ 4 何かキーを押して続行します。  
CD または DVD をディスク ドライブから取り出してあるかどうかを確認されます。
  - ステップ 5 有効な CD または DVD をディスク ドライブに挿入します。

(注) このテストでは、音楽 CD ではなくデータ CD を使用する必要があります。ディスクを挿入したかが確認されます。

- ステップ 6** ディスクが挿入されていることが確認されると、次のいずれかのオプションを入力して続行するように指示されます。
- 管理者パスワードをリセットする場合は、**a** を入力します。
  - セキュリティパスワードをリセットする場合は、**s** を入力します。
  - 終了する場合は、**q** を入力します。
- ステップ 7** 選択したタイプの新しいパスワードを入力します。
- ステップ 8** 新しいパスワードを再入力します。  
パスワードは 6 文字以上にする必要があります。新しいパスワードの強度がチェックされます。パスワードが強度テストにパスしない場合、新しいパスワードを入力するように指示されます。
- ステップ 9** システムによって新しいパスワードの強度が確認されると、パスワードがリセットされます。任意のキーを押してパスワードリセットユーティリティを終了するよう指示するプロンプトが表示されます。

## ユーザクレデンシャルの構成設定

次のオプションは、[管理者アカウント (Administrator Account)] リストから管理者アカウントを選択するときに表示されます。次の表は、各ユーザのクレデンシャルの設定を示しています。

表 2: ユーザクレデンシャルの設定

フィールド	説明
管理者によってロックされたアカウント (Account Locked By Administrator)	このアカウントをロックし、このユーザに対するアクセスをブロックするには、このチェックボックスをオンにします。 このチェックボックスをオフにすると、このアカウントがロック解除され、このユーザへのアクセスが許可されます。
ユーザはクレデンシャルを変更できません (User Cannot Change Credentials)	ユーザによるパスワードの変更を防ぐには、このチェックボックスをオンにします。 [次のログイン時に、ユーザはクレデンシャルを変更する必要があります (User Must Change at Next Login)] チェックボックスがオンになっている場合は、このチェックボックスをオンにできません。

フィールド	説明
ユーザは次回ログイン時にクレデンシャルを変更する必要があります (User Must Change at Next Login)	<p>次回のログイン時にパスワードの変更をユーザに要求するには、このチェックボックスをオンにします。このオプションは、一時パスワードを割り当てた後に使用してください。</p> <p>[ユーザはクレデンシャルを変更できません (User Cannot Change Credentials) ]チェックボックスがオンになっている場合は、このチェックボックスをオンにできません。</p>
クレデンシャルに有効期限はありません	<p>システムがユーザにパスワードの変更を要求しないようにするには、このチェックボックスをオンにします。このオプションは、セキュリティレベルの低いユーザに使用できます。</p> <p>オンにした場合でも、ユーザはパスワードをいつでも変更できます。このチェックボックスをオフにした場合は、関連付けられているクレデンシャルポリシーの有効期限設定が適用されます。</p>
ログイン試行の失敗をリセットする (Reset Failed Login Attempts)	<p>このユーザのログイン試行の失敗回数をリセットするには、このチェックボックスをオンにします。[ログイン試行失敗によりロックされる時間 (Time Locked Due to Failed Login Attempts) ]および[最終ログイン試行の時刻 (Time of Last Login Attempt) ]フィールドは自動的にクリアされます。</p> <p>ログイン試行の失敗回数は、誤ったクレデンシャルによる認証が失敗するたびに増加します。</p>
ログイン試行失敗によりロックされる時間 (Time Locked Due to Failed Login Attempts)	<p>このフィールドには、ログオン試行に失敗したためにシステムで最後にこのユーザアカウントがロックされた日付と時刻が表示されます。この時刻は、ログイン試行の失敗回数がクレデンシャルポリシーで設定されているしきい値と等しくなるたびに設定されます。</p>
最終ログイン試行の時刻 (Time of Last Failed Login Attempt)	<p>このフィールドには、このユーザクレデンシャルで最後にログオン試行に失敗した日付と時刻が表示されます。</p>
最後にログイン試行に失敗したIPアドレス (IP Address of Last Failed Login Attempt)	<p>このフィールドには、最後に無効なユーザ名またはパスワードを入力したユーザのIPアドレスが表示されます。</p>
管理者によってロックされた時刻 (Time Locked by Administrator)	<p>このフィールドには、管理者がこのユーザアカウントをロックした日付と時刻が表示されます。管理者がクレデンシャルのロックを解除すると、このフィールドはクリアされます。</p>

フィールド	説明
ログイン試行の失敗 (Failed Login Attempts)	このフィールドには、管理者がこのユーザ クレデンシャルのログイン試行の失敗回数をリセットした後、またはログイン試行の失敗回数が最後にリセットされた後、最後のログイン以降に失敗したログイン試行の回数が表示されます。
最終変更時刻 (Time Last Changed)	このフィールドには、このユーザのパスワードが最後に変更された日付と時刻が表示されます。
最終変更をしたユーザ名 (Last Changed by User Name)	このフィールドには、パスワードを最後に変更したユーザのユーザ名が表示されます。
最終ログイン (Last Successful Login)	このエントリは、特定の管理者が最後にログインに成功した日時を示します。
最終ログインの IP アドレス (IP Address of Last Successful Login)	このフィールドには、最後にログインに成功したユーザの IP アドレスが表示されます。

## クレデンシャルポリシーの設定

### クレデンシャルポリシーの設定

クレデンシャルポリシーは、Cisco Prime License Manager での管理者アカウントのパスワード要件とアカウントロックアウトを定義します。ポリシーには、失敗したログインのリセット数、ロックアウト時間、有効期限、およびパスワード要件の設定が含まれます。[クレデンシャルポリシーの設定 (Credential Policy Configuration)] ウィンドウでは、マスターアカウントによってシステムの既存のクレデンシャルポリシーを変更できます。

パスワードには英数字の ASCII 文字およびすべての ASCII 特殊文字が使用可能です。単純でないパスワードは、次の条件を満たすものとします。

- 少なくとも 1 つの大文字、1 つの小文字、1 つの数字 (0 ~ 9) 、および 1 つの特殊文字が含まれていること。
- ユーザ名が含まれていないこと。
- 連続する文字または数字のみで構成されていないこと (654321 や ABCDEFG など) 。

## 手順

- 
- ステップ 1** Cisco Prime License Manager のメインメニューから、[管理 (Administration)] > [管理者アカウント (Administration Accounts)] を選択します。
- ステップ 2** [クレデンシャルポリシー (Credential Policy)] を選択します。
- ステップ 3** [クレデンシャルポリシーの設定 (Credential Policy Configuration)] 設定を変更します。  
システムは、単純すぎるクレデンシャルのチェックを行って、簡単にアクセスできるパスワードを許可しないようにしています。[クレデンシャルポリシーの設定 (Credential Policy Configuration)] ダイアログボックスの[安易なクレデンシャルかどうかのチェック (Check for Trivial Credentials)] チェックボックスをオンにして、単純すぎるパスワードのチェックを有効にします。
-





## 第 5 章

# ライセンス管理

---

- [はじめに, 33 ページ](#)
- [ライセンス計画の作成, 33 ページ](#)
- [既存のライセンスのアップグレード, 34 ページ](#)
- [ライセンスの再ホスト, 36 ページ](#)
- [Cisco Prime License Manager にライセンスを移行します, 37 ページ](#)

## はじめに

ライセンスを管理するために以下を実行できます。

- 製品のライセンス要件を判断します。「[ライセンス (Licenses) ]ビューの設定」を参照してください。
- Cisco Prime License Manager で、別のライセンシング方法を実装するアップグレードされた製品インスタンスを管理する場合は、既存のライセンスを移行します。[Cisco Prime License Manager にライセンスを移行します, \(37 ページ\)](#) を参照してください。
- 新規ライセンスの履行を実行します。[ライセンス計画の作成, \(33 ページ\)](#) を参照してください。

## ライセンス計画の作成

新しいライセンスの追加を計画するには、次の手順を実行します。

## 手順

- 
- ステップ 1** Cisco Prime License Manager の [ライセンス (Licenses)] > [計画 (Planning)] ウィンドウで、[ライセンス追加計画の作成 (Create an Add Licenses Plan)] をクリックします。
- ステップ 2** [製品の選択 (Choose Product)] セクションで、ライセンスを追加する製品の製品タイプとライセンスバージョンを選択します。[次へ (Next)] をクリックします。
- ステップ 3** [ライセンス数 (License Counts)] セクションで、各タイプのライセンスに割り当てるライセンスの数を調整し、[保存 (Save)] をクリックしてそのライセンスタイプに対する変更を保存します。また、[コンプライアンスチェックの実行 (Run Compliance Check)] をクリックしてコンプライアンスチェックを実行したり、[値のリセット (Reset Values)] をクリックしてライセンスの値をリセットしたりすることも可能です。ライセンス数が設定されたら、[次へ (Next)] をクリックします。  
各ライセンスタイプの横の矢印をクリックすると、そのライセンスタイプの詳細情報が表示されます。
- ステップ 4** コンプライアンスチェックに合格しなかった場合は、[ライセンス数 (License Counts)] に戻って追加の変更を行うことができます。コンプライアンスチェックに合格した場合は、[次へ (Next)] をクリックして次のセクションに移動します。
- ステップ 5** [要約と次の手順 (Summary and Next Steps)] セクションで、行った変更の要約を確認して保存できます。また、独自の要約名と説明を入力することも可能です。
- ステップ 6** 要約を表示するには、[要約の表示 (View Summary)] をクリックします。デフォルトで、[Cisco Prime License Manager に要約を保存 (Save Summary in Cisco Prime License Manager)] オプションが選択されます。また、要約のデフォルト名は、<product-type>-add-<date-time-stamp> のフォーマットで [名前 (Name)] フィールドに表示されます。発注やライセンスの履行に関する説明も、このセクションに表示されます。
- ステップ 7** [完了 (Finish)] をクリックします。
- 

## 次の作業

- 1 [注文 (Place your order)] : ライセンスを購入するか、サービス契約を利用して PAK を取得します。
- 2 [ライセンスの履行 (Fulfill your licenses)] : Cisco Prime License Manager の [ライセンスの履行 (License Fulfillment)] 画面に PAK を入力すると、電子履行プロセスを通じてライセンスが履行されます。Cisco Prime License Manager は、シスコライセンスサーバと通信し、新しいライセンスがインストールされていて、使用できる状態です。

# 既存のライセンスのアップグレード

ライセンスアップグレードには、次の3つのタイプがあります。

- ライセンス機能のアップグレード

- ライセンスバージョンのアップグレード
- ライセンス機能とバージョンのアップグレード



(注) アップグレードライセンスは、現在インストールされているライセンスの変換にのみ使用できます。

電子履行を使用してメジャーバージョンアップグレードを履行するには、次の手順に従います。

#### 手順

- ステップ 1** Cisco Prime License Manager のメインメニューから、[ライセンス (Licenses)] > [履行 (Fulfillment)] を選択します。
- ステップ 2** 電子履行モードで、[ライセンスをPAKから履行 (Fulfill Licenses from PAK)] をクリックします。
- ステップ 3** [新しいPAKからライセンスを追加 (Add licenses from a new PAK)] を選択し、製品認証キー (PAK) コードを入力します。  
Cisco Prime License Manager で PAK を入力済みの場合は、[部分履行をサポートするインストール済みの PAK からライセンスを追加 (Add licenses from an already-installed PAK that supports partial fulfillment)] を選択できます。このオプションを選択した場合は、ドロップダウンメニューから既存の PAK コードを選択します。
- ステップ 4** [次へ (Next)] をクリックします。Cisco.com のアカウント情報を求められた場合は、Cisco.com に登録したときに入力したユーザ名とパスワードを入力します。
- ステップ 5** [OK] をクリックします。  
履行する残りのライセンスがある場合（および PAK のユーザ名とパスワードが確認されている場合）、[ライセンスを履行 (Fulfill Licenses)] セクションが表示されます。  
ライセンスは、最初に発行された cisco.com のアカウントを使用しないと履行できません。
- ステップ 6** PAK でライセンスは SKU 名別に表示されます。各ライセンスの数はいくつかの見出しの下に分類され、履行済みのライセンスの数と履行前の残りのライセンスの数が示されます。  
履行するライセンスの数を指定するには、そのライセンスタイプの [操作 (Actions)] 列で [履行 (Fulfill)] を選択します。[ライセンスの履行 (Fulfill Licenses)] ウィンドウで、ライセンスのバージョン、機能、または両方を指定し、[保存 (Save)] をクリックしてから [OK] をクリックしてウィンドウを閉じます。これで、更新された数が、[ライセンスを履行 (Fulfill Licenses)] テーブルの [履行 (Fulfill)] 列に表示されます。
- (注) 一部の PAK は、部分履行に適していません。これらの PAK はまとめてパッケージ化されているため、1つのトランザクションの1つの Cisco Prime License Manager でのみ履行できます。たとえば、NFR (再販なし) の注文は 20 個の CUWL Pro Unified CM および Unity Connection ライセンス、5 個の TelePresence Room ライセンスが含まれるパッケージとして販売されています。
- (注) ([ライセンスの履行 (Fulfill Licenses)] テーブルの [履行前 (Before Fulfillment)] で) ライセンスが [履行済み (Fulfilled)] と表示されている場合、それらのライセンスは、現行または別の Cisco Prime License Manager によってすでに履行されています。

(注) 選択したライセンスを履行したら、[コンプライアンスチェックの実行 (Run Compliance Check)] をクリックして、適合していることを確認できます。

- ステップ 7** [次へ (Next)] をクリックして変更を確認します。まだ変更する必要がある場合は、[前へ (Previous)] をクリックして [ライセンスの履行 (Fulfill Licenses)] に戻ります。変更を完了した場合は、[次へ (Next)] をクリックして次のセクションに移動します。
- ステップ 8** [ライセンスの履行 (Fulfill Licenses)] セクションで [次へ (Next)] をクリックすると、[トランザクション オプション (Transaction Options)] と [使用許諾契約書 (License Agreement)] セクションが開きます。このセクションでは、説明を入力できません (任意)。また、オプションを選択してドロップダウンリストからライセンス要約の名前を選択することによって、このトランザクションを保存されているライセンス要約に関連付けることができます。
- ステップ 9** チェックボックスを選択し、エンドユーザ ライセンス契約書の条項に同意します。
- ステップ 10** [終了 (Finish)] をクリックします。  
電子履行プロセスが正常に完了すると、新しい履行が [ライセンスの履行 (License Fulfillment)] テーブルに表示されます。

## ライセンスの再ホスト

ライセンスは、特定の Cisco Prime License Manager に対して履行されます。新しい Cisco Prime License Manager にライセンスを移動する必要がある場合は、ライセンスを再ホストする必要があります。

以下の場合には、再ホストが必要となります。

- ハードウェア障害が発生し、Cisco Prime License Manager の新しいハードウェアが必要な場合
- 複数の Cisco Prime License Manager が必要で、履行ライセンスの一部を新しい Cisco Prime License Manager に移動する必要がある場合

ライセンスの再ホストや移動は [www.cisco.com/go/license](http://www.cisco.com/go/license) でリクエストできます。Global Licensing Operations (GLO) のサポートは必要ありません。



(注) 再ホストポータルを使用するには、ライセンスを最初に注文または履行したときと同じ Cisco.com のユーザ ID を使用する必要があります。

再ホストを実行するには、ソース マシンからのライセンス登録 ID に加えて、ターゲット マシンからのライセンス要求またはライセンス登録 ID が必要です。

ライセンスの再ホストを実行するには、次の手順に従います。

## 手順

- ステップ 1 [製品ライセンス登録 (Product License Registration)] ([www.cisco.com/go/license](http://www.cisco.com/go/license)) から、[デバイス (Devices)] を選択します。
- ステップ 2 特定のデバイスの [ライセンスID (License ID)] タブで、再ホストするライセンスを選択します。
- ステップ 3 表示されるポップアップで [再ホスト/転送 (Rehost/Transfer)] を選択します。
- ステップ 4 [割り当て数量 (Quantity to Assign)] フィールドに、転送するライセンス数を入力します。
- ステップ 5 [ライセンス要求 (License Request)] フィールドに、ターゲット デバイスの Cisco Prime License Manager のライセンス要求を入力します。
- ステップ 6 [次へ (Next)] をクリックします。
- ステップ 7 [確認 (Review)] 画面で、選択内容を確認します。
- ステップ 8 電子メールアドレスを入力し、[エンドユーザ (End User)] の横にあるドロップダウン リストから自分の名前を選択した後、使用条件に同意します。
- ステップ 9 [送信 (Submit)] をクリックします。
- ステップ 10 再ホストするライセンスが、電子メールで送信されます。その後、ターゲットの Cisco Prime License Manager に手動でインストールする必要があります。  
(注) ライセンスをマシンにダウンロードすることもできます。それには [ライセンス要求ステータス (License Request Status)] ウィンドウで [ダウンロードされたターゲット (Download Target)] をクリックし、ダウンロード先を選択します。

## Cisco Prime License Manager にライセンスを移行します

8.x 以前から 9.x 以降に製品インスタンスをアップグレードする場合は、手動でライセンスを移行する必要があります。Global Licensing Organization (GLO) のサポートを受けて、古いパラダイムから新しいパラダイムにライセンスを変換する必要があります。たとえば、Cisco Unified Communications Manager リリース 8.x 以前から 9.x 以降にライセンスを移動することができます。

この項では、を続行できるさまざまな移行パスを説明します。Cisco Prime License Manager を使用します。Cisco Emergency Responder、Cisco Unified Communications Manager、および Cisco Unity Connection には、それぞれ独自の移行パスがあります。



- (注) ユーザの実行する移行パスは、いくつかの要因によって異なります (たとえば、製品タイプ、サーバに以前のバージョンのデータが含まれているかどうかなど)。次のフローチャートは、移行を正常に完了するために必要な意思決定に関するガイドを提供します。より広範な移行プロセスについては、該当する製品インスタンスのリリース ノートを参照してください。

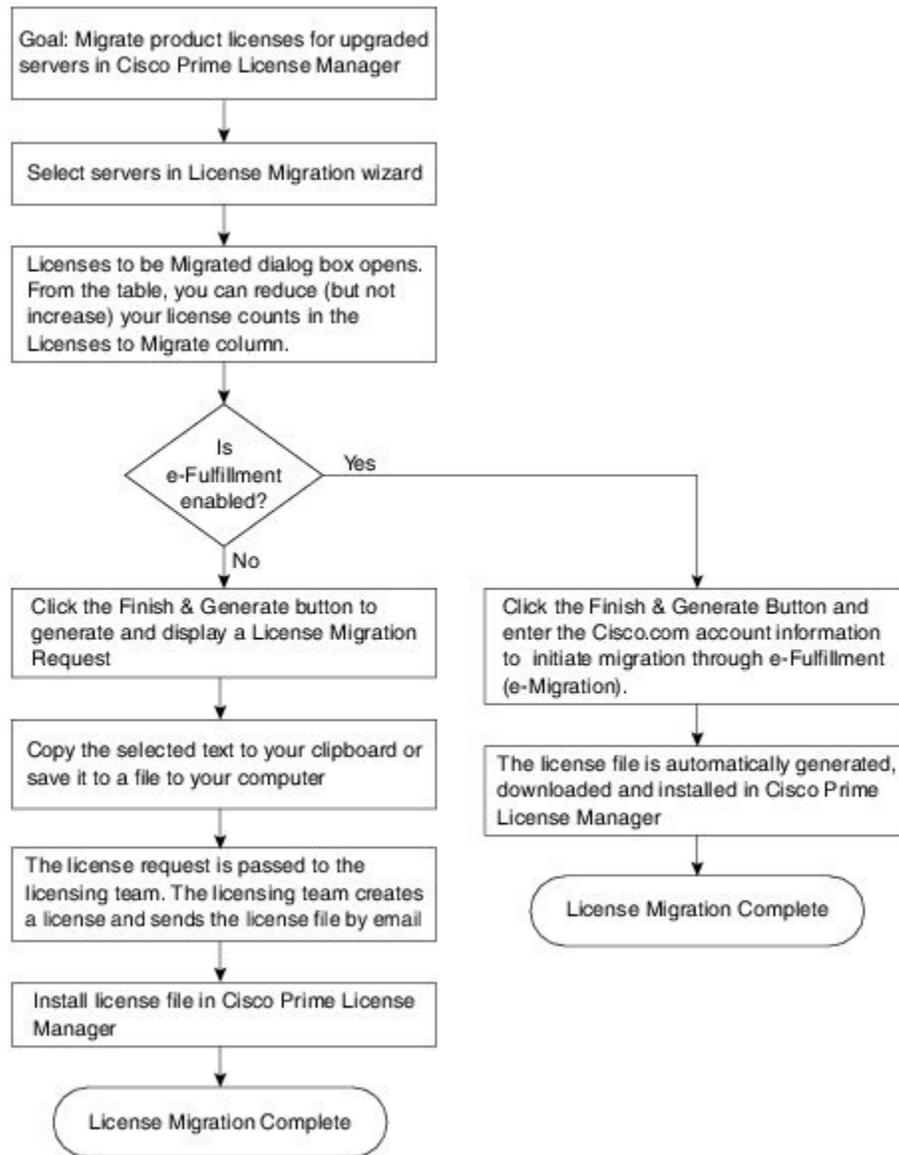


(注) Cisco Prime License Manager がデモ モードになっている場合は、複数の移行要求を作成しないでください。2つ目の移行を開始する前に、ライセンスのインストールを含め、最初の移行を完了します。移行要求が複数のライセンス ファイルに分かれる場合は、先に進む前に、すべてのライセンス ファイルを順番にインストールします。

Cisco Prime License Manager にライセンスがまだ移行されていない製品インスタンスの移行を計画するには、次の手順を使用します。

## Cisco Emergency Responder の移行パス

次のフローチャートは、Cisco Emergency Responder のライセンスを Cisco Prime License Manager に移行するのに役立ちます。



37 10/99

## 電子履行が有効な場合の Cisco Emergency Responder 移行パス

標準の移行とは、特に Cisco Emergency Responder を指す用語です。Cisco Unified Communications Manager と Cisco Unity Connection は固有の移行パスがあり、個別にドキュメントで説明されています。

電子フルフィルメントが有効な場合、ライセンスが Cisco Prime License Manager にまだムーブされていない製品インスタンスの移行を計画するには、次の手順を使用します。

## 手順

- 
- ステップ 1** Cisco Prime License Manager の [ライセンス (Licenses) ] > [履行 (Fulfillment) ] ウィンドウで、[履行オプション (Fulfillment Options) ] > [ライセンスの移行 (Migrate Licenses) ] をクリックします。
- ステップ 2** [製品タイプの選択 (Choose Product Type) ] セクションで、ドロップダウンメニューからアップグレードする製品のタイプを選択し、[次へ (Next) ] をクリックします。
- ステップ 3** [新規ライセンスバージョン (New License Version) ] セクションで、ライセンスを移行する製品のバージョンを選択します。
- ステップ 4** [利用可能な製品インスタンス (Available Product Instances) ] ウィンドウで製品インスタンスを選択し、矢印をクリックして [移行対象の製品インスタンス (Product Instances to Migrate) ] ウィンドウに移動します。  
[Next] をクリックします。
- ステップ 5** テーブルの [移行するライセンス (Licenses to Migrate) ] カラムでライセンス数を減らすことができます (ライセンス数を増やすことはできません)。また、[コンプライアンスチェックの実行 (Run Compliance Check) ] をクリックしてコンプライアンスチェックを実行したり、[値のリセット (Reset Values) ] をクリックしてライセンスの値をリセットしたりすることも可能です。[OK] をクリックしてダイアログボックスを閉じてから、[次へ (Next) ] をクリックして [要約と次の手順 (Summary and Next Steps) ] のセクションに移動します。
- ステップ 6** トランザクションの任意の説明を指定します。エンドユーザライセンス契約を読み、[終了して要求を作成 (Finish & Generate Request) ] をクリックします。
- ステップ 7** [Cisco.com (CCO) ユーザ ID (Cisco.com (CCO) User ID) ] フィールドに Cisco ユーザ ID を入力します。  
要求は電子的に送信され、すぐに処理されます。ライセンスは自動的にインストールされます。
- 

## 電子履行が無効な場合の Cisco Emergency Responder 移行パス

標準の移行とは、特に Cisco Emergency Responder を指す用語です。Cisco Unified Communications Manager と Cisco Unity Connection は固有の移行パスがあり、個別にドキュメントで説明されています。

電子履行が無効な場合に Cisco Prime License Manager にライセンスがまだ移行されていない製品インスタンスの移行を計画するには、次の手順を使用します。

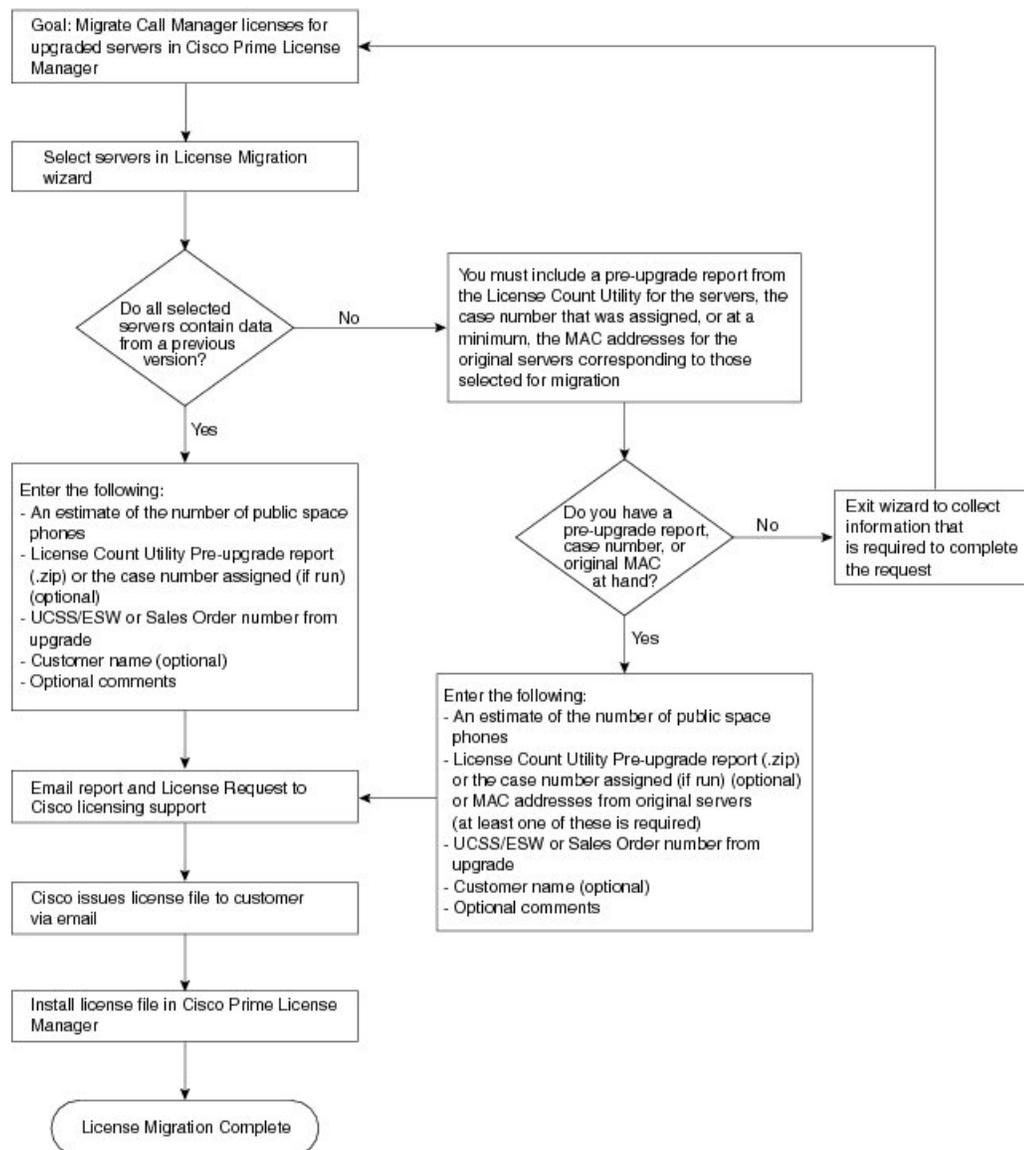
## 手順

- 
- ステップ 1** Cisco Prime License Manager の [ライセンス (Licenses) ] > [履行 (Fulfillment) ] ウィンドウで、[履行オプション (Fulfillment Options) ] > [ライセンスの移行 (Migrate Licenses) ] をクリックします。
- ステップ 2** [製品タイプの選択 (Choose Product Type) ] セクションで、ドロップダウンメニューからアップグレードする製品のタイプを選択し、[次へ (Next) ] をクリックします。
- ステップ 3** [新規ライセンスバージョン (New License Version) ] セクションで、ライセンスを移行する製品のバージョンを選択します。
- ステップ 4** [利用可能な製品インスタンス (Available Product Instances) ] ウィンドウで製品インスタンスを選択し、矢印をクリックして [移行対象の製品インスタンス (Product Instances to Migrate) ] ウィンドウに移動します。  
[次へ (Next) ] をクリックします。
- ステップ 5** テーブルの [移行するライセンス (Licenses to Migrate) ] カラムでライセンス数を減らすことができます (ライセンス数を増やすことはできません)。また、[コンプライアンスチェックの実行 (Run Compliance Check) ] ボタンをクリックしてコンプライアンスチェックを実行したり、[値のリセット (Reset Values) ] ボタンをクリックしてライセンスの値をリセットしたりすることも可能です。[OK] をクリックしてダイアログボックスを閉じてから、[次へ (Next) ] をクリックして [要約と次の手順 (Summary and Next Steps) ] のセクションに移動します。
- ステップ 6** [要約と次の手順 (Summary and Next Steps) ] セクションで、行った変更の要約を確認して保存できます。要約を表示するには、[要約の表示 (View Summary) ] をクリックします。また、要約のデフォルト名は、<productname>-migrate-<date-time-stamp> のフォーマットで [名前 (Name) ] フィールドに表示されます。発注やライセンスの履行に関する説明も、このセクションに表示されます。[終了して要求を作成 (Finish & Generate Request) ] をクリックします。
- ステップ 7** 選択したテキストをクリップボードにコピーするか、[コンピュータのファイルに保存します (Save it to a file on your computer) ] をクリックします。
- ステップ 8** ステップ 2 で [ライセンス移行ポータル (License Migration Portal) ] を選択し、コピーしたテキストを指定されたフィールドに貼り付けるか、コンピュータに保存したファイルを選択します。
- ステップ 9** [閉じる (Close) ] をクリックし、[ライセンスの履行 (License Fulfillment) ] ページに戻ります。
-

## Cisco Unified Communications Manager の移行パス

次のフローチャートは、Cisco Unified Communications Manager のライセンスを Cisco Prime License Manager に移行するのに役立ちます。

図 1 : Cisco Unified Communications Manager の移行のフローチャート



1012001

Cisco Prime License Manager にライセンスがまだ移行されていないすべての Unified Communication 製品インスタンスの移行を計画するには、次の手順を使用します。

手順

- ステップ 1 Cisco Prime License Manager の [ライセンス (Licenses) ] > [履行 (Fulfillment) ] ウィンドウで、[履行オプション (Fulfillment Options) ] > [ライセンスの移行 (Migrate Licenses) ] を選択します。
- ステップ 2 [ライセンスを Cisco Prime License Manager に移行 (Migrate Licenses to Cisco Prime License Manager) ] ウィザードで、[製品タイプの選択 (Choose Product Type) ] セクションのドロップダウンメニューから、[Unified CM] を選択します。
- ステップ 3 [新規ライセンスバージョン (New License Version) ] セクションで、ライセンスを移行する製品のバージョンを選択します。  
このセクションには、ユーザが選択した製品のタイプによって異なる移行プロセスの説明があります。
- ステップ 4 [次へ (Next) ] をクリックします。
- ステップ 5 製品インスタンスをアップグレードするには、[利用可能な製品インスタンス (Available Product Instances) ] ウィンドウで製品インスタンスを選択し、矢印をクリックして [移行対象の製品インスタンス (Product Instances to Migrate) ] ウィンドウに移動します。  
(注) デフォルトでは、Cisco Unified Communications Manager の以前のバージョンのライセンスのデータを含む製品インスタンスのみが [利用可能な製品インスタンス (Available Product Instances) ] テーブルに表示されます。アップグレードした製品インスタンスがリストに表示されない場合は、[Unified CM製品インスタンスをさらに表示 (Show additional Unified CM product instances) ] チェックボックスをクリックします。このチェックボックスを選択すると、以前のライセンス データを含まない製品インスタンスと、以前のライセンス移行要求に含まれる製品インスタンスがリストに追加されます。
- ステップ 6 [次へ (Next) ] をクリックします。
- ステップ 7 [アップグレード前の製品インスタンス データの要約 (Summary of Pre-Upgrade Product Instance Data) ] テーブルには、前のステップで選択した製品インスタンスがリスト表示されます。このテーブルは編集できません。テーブルの下に入力が必要ないいくつかのフィールドがあります。

フィールド	入力
Public Space 電話 (Public Space Phones)	推測される Public Space 電話の数。Public Space 電話にはユーザが割り当てられていないため、通常は共有ワークスペース、ロビー、会議室に配置されます。これらの電話機には一般に低レベルのライセンスが必要であるため、これらの電話機を何台導入するかを見積もることにより、シスコがより正確にお客様のライセンス要件を判断できます。
ケース番号 (Case Numbers) (任意)	Cisco Licensing Support にレポートを送信した場合に割り当てられるケース番号です。

フィールド	入力
ライセンス数のユーティリティレポート (License Count Utility Reports) (任意)	[レポートのアップロード (Upload Report)] をクリックし、[License Count Utilityレポートのアップロード (Upload License Count Utility Report)] ダイアログボックスを開きます。[参照 (Browse)] をクリックしてレポートファイルを選択し、[レポートのアップロード (Upload Report)] をクリックします。
MAC アドレス (MAC Addresses) (任意)	アップグレードされた元のサーバの MAC アドレスです。これらの MAC アドレスを使用して製品インスタンスで登録されたライセンスが検索されます。

適切なオプションを選択して必要な情報を入力したら、[次へ (Next)] をクリックします。

**ステップ 8** [要約と次の手順 (Summary and Next Steps)] セクションでは、アップグレードをどのように注文したかを指定する必要があります。

- 1 つ以上のサービス契約を利用してアップグレードした (Upgraded using one or more service contracts)
- アップグレードを購入した (Purchased the upgrade)

[1 つ以上のサービス契約を利用してアップグレードした (Upgraded using one or more service contracts)] を選択した場合は、[UCSS/ESW 契約番号 (UCSS/ESW Contract Numbers)] を入力します。[アップグレードを購入した (Purchased the upgrade)] を選択した場合は、[SO 番号 (Sales Order Numbers)] を入力します。

**ステップ 9** [Cisco.com (CCO) ユーザ ID (Cisco.com (CCO) User ID)] フィールドに Cisco ユーザ ID を入力します。  
[会社名 (CompanyName)] やその他の情報をキャプチャするために使用するフィールドは任意選択です。会社名を入力すると、その名前が電子メールの件名行で使用され、zip ファイルの名前に含まれます。

また、要約のデフォルト名は、<productname>-migrate-<date-time-stamp> のフォーマットで [名前 (Name)] フィールドに表示されます。発注やライセンスの履行に関する説明も、このセクションに表示されます。[終了して要求を作成 (Finish & Generate Request)] をクリックします。

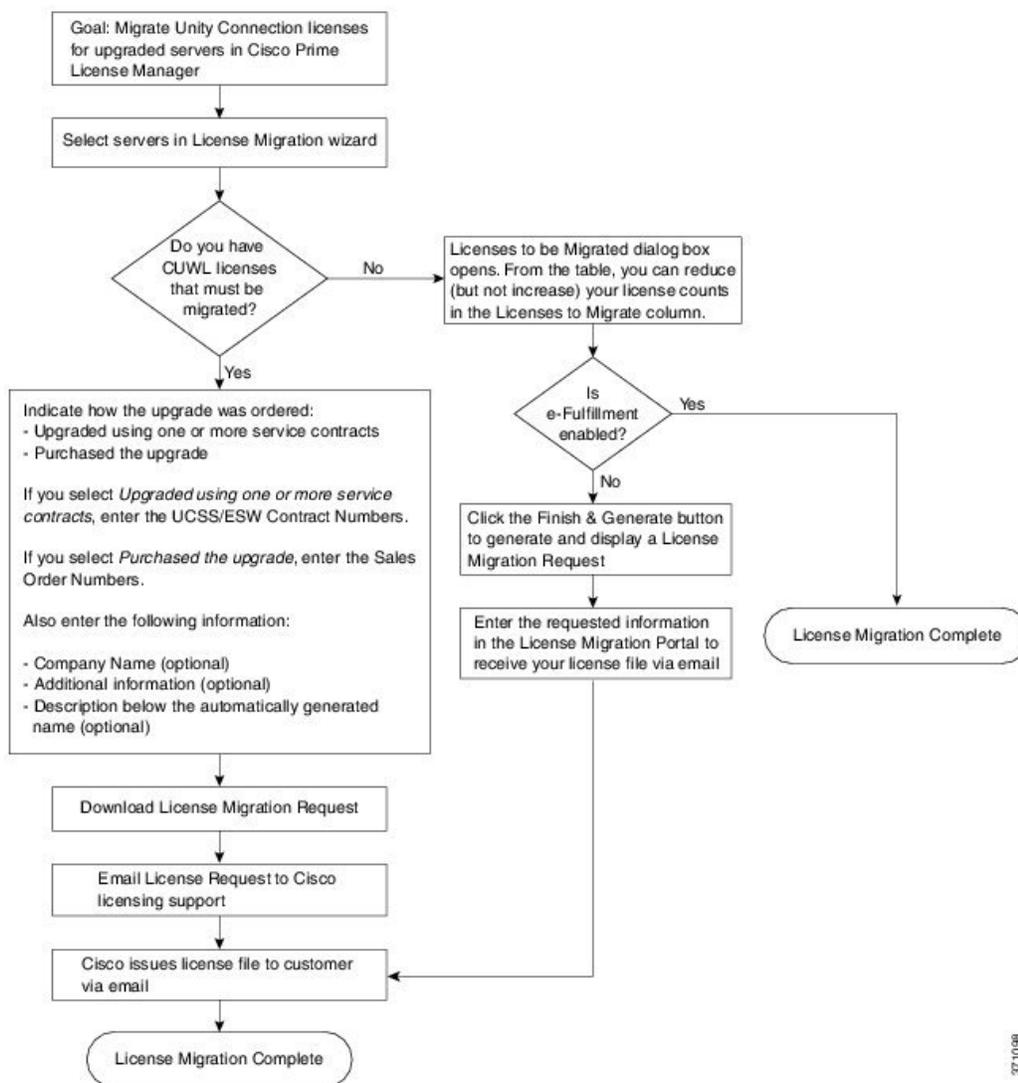
**ステップ 10** [ライセンス移行要求と次の手順 (License Migration Request and Next Steps)] ウィンドウで、ライセンス移行要求の zip ファイルをコンピュータにダウンロードします。  
提供されたリンクを使用してライセンス移行要求を Cisco のライセンス サポートに電子メールで送信します。

[閉じる (Close)] をクリックし、[ライセンスの履行 (License Fulfillment)] ページに戻ります。

# Cisco Unity Connection の移行パス

次のフローチャートは、Cisco Unity Connection のライセンスを Cisco Prime License Manager に移行するのに役立ちます。

図 2: *Unity Connection* の移行のフローチャート



Cisco Prime License Manager にライセンスがまだ移行されていないすべての Unity Connection 製品インスタンスの移行を計画するには、次の手順を使用します。

## 手順

- ステップ 1** Cisco Prime License Manager の [ライセンス (Licenses) ] > [履行 (Fulfillment) ] ウィンドウで、[履行オプション (Fulfillment Options) ] > [ライセンスの移行 (Migrate Licenses) ] をクリックします。
- ステップ 2** [ライセンスを Cisco Prime License Manager に移行 (Migrate Licenses to Cisco Prime License Manager) ] ウィザードで、[製品タイプの選択 (Choose Product Type) ] セクションのドロップダウンメニューから、[Unity Connection] を選択します。
- ステップ 3** [新規ライセンスバージョン (New License Version) ] セクションで、ライセンスを移行する製品のバージョンを選択します。  
このセクションには、ユーザが選択した製品のタイプによって異なる移行プロセスの説明があります。
- ステップ 4** [次へ (Next) ] をクリックします。
- ステップ 5** 製品インスタンスをアップグレードするには、[利用可能な製品インスタンス (Available Product Instances) ] ウィンドウで製品インスタンスを選択し、矢印をクリックして [移行対象の製品インスタンス (Product Instances to Migrate) ] ウィンドウに移動します。
- ステップ 6** [次へ (Next) ] をクリックします。
- ステップ 7** [ライセンス数 (License Counts) ] セクションで、Cisco Unified Workshop License (CUWL) に関する 2 つのオプションのいずれかを選択するように求められます。

オプション	入力
移行する CUWL ライセンスがある (I have CUWL licenses to be migrated)	[次へ (Next) ] をクリックし、[要約と次の手順 (Summary and Next Steps) ] セクションに移動します。
移行する CUWL ライセンスがない (I do not have CUWL licenses to be migrated)	[移行するライセンス (Licenses to Migrate) ] カラムではライセンス数を減らすことができます (ライセンス数を増やすことはできません)。また、[コンプライアンスチェックの実行 (Run Compliance Check) ] をクリックしてコンプライアンスチェックを実行したり、[値のリセット (Reset Values) ] をクリックしてライセンスの値をリセットしたりすることも可能です。[OK] をクリックしてダイアログボックスを閉じてから、[次へ (Next) ] をクリックして [要約と次の手順 (Summary and Next Steps) ] のセクションに移動します。

- ステップ 8** [要約と次の手順 (Summary and Next Steps) ] セクションに表示される情報は、ステップ 4 で選択したオプションによって決まります。

オプション	説明
<p>移行する CUWL ライセンスがある (have CUWL licenses to be migrated)</p>	<p>このセクションでは、アップグレードをどのように注文したかを指定する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 1 つ以上のサービス契約を利用してアップグレードした</li> <li>- アップグレードを購入した</li> </ul> <p>1 つ以上のサービス契約を利用してアップグレードした場合は、[UCSS/ESW 契約番号 (UCSS/ESW Contract Numbers) ] を入力します。</p> <p>アップグレードを購入した場合は、[SO 番号 (Sales Order Numbers) ] を入力します。</p> <p>[Cisco.com (CCO) ユーザ ID (Cisco.com (CCO) User ID) ] フィールドに Cisco ユーザ ID を入力します。</p> <p>[会社名 (Company Name) ] やその他の情報をキャプチャするために使用するフィールドは任意選択です。会社名を入力すると、その名前が電子メールの件名行で使用され、zip ファイルの名前に含まれます。</p> <p>また、要約のデフォルト名は、&lt;productname&gt;-migrate-&lt;date-time-stamp&gt; のフォーマットで [名前 (Name) ] フィールドに表示されます。発注やライセンスの履行に関する説明も、このセクションに表示されます。</p> <p>[終了して要求を作成 (Finish &amp; Generate Request) ] をクリックします。</p> <p>[ライセンス移行要求と次の手順 (License Migration Request and Next Steps) ] ウィンドウで、ライセンス移行要求の zip ファイルをコンピュータにダウンロードします。</p> <p>提供されたリンクを使用してライセンス移行要求を Cisco のライセンス サポートに電子メールで送信します。</p> <p>[閉じる (Close) ] をクリックし、[ライセンスの履行 (License Fulfillment) ] ウィンドウに戻ります。</p>
<p>移行する CUWL ライセンスがなく電子履行が有効 (I do not have CUWL licenses to be migrated and e-Fulfillment is enabled)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 トランザクションの任意の説明を指定します。エンドユーザライセンス契約を読み、チェックボックスを選択して確認します。</li> <li>2 [終了して作成 (Finish and Generate) ] をクリックします。</li> <li>3 Cisco.com のログイン情報を入力し、[OK] をクリックします。</li> <li>4 要求は電子的に送信され、すぐに処理されます。ライセンスは自動的にインストールされます。</li> </ol>

オプション	説明
移行する CUWL ライセンスがなく電子履行が無効 (I do not have CUWL licenses to be migrated and e-Fulfillment is disabled)	<p>このセクションでは、行った変更の要約を確認して保存できます。要約を表示するには、[要約の表示 (View Summary)] をクリックします。</p> <p>また、要約のデフォルト名は、&lt;productname&gt;-migrate-&lt;date-time-stamp&gt; のフォーマットで [名前 (Name)] フィールドに表示されます。発注やライセンスの履行に関する説明も、このセクションに表示されます。[終了して要求を作成 (Finish &amp; Generate Request)] をクリックします。</p> <p>[ライセンス移行要求と次の手順 (License Migration Request and Next Steps)] ウィンドウで、選択したテキストをクリップボードにコピーするか、[コンピュータのファイルに保存します (Save it to a file on your computer)] をクリックします。</p> <p>ステップ 2 で [ライセンス移行ポータル (License Migration Portal)] を選択し、コピーしたテキストを指定されたフィールドに貼り付けるか、コンピュータに保存したファイルを選択します。</p> <p>[閉じる (Close)] をクリックし、[ライセンスの履行 (License Fulfillment)] ウィンドウに戻ります。</p> <p>(注) [ライセンスの履行 (License Fulfillment)] ウィンドウからは、電子移行のトランザクションにのみアクセスできます。これは手動移行であるため、移行計画には [ライセンス計画 (License Planning)] ウィンドウからのみアクセスできます。</p>

## Cisco Unified Communications Manager の代替移行パス

特定の状況下で使用できる代替移行パスを次に示します。

- ライセンス数のユーティリティ (LCU) レポートなしで完了したアップグレード
- 9.x より前のインポート済みデータによる新規インストール

### LCU レポートなしで完了したアップグレード

Cisco Prime License Manager 移行ユーティリティは、アップグレード中に保持される DLU とライセンスの使用状況に依存します。

9.x より前のバージョンで License Count Utility を実行することなく、製品を 9.x、10.x、または 11.x にアップグレードした場合は、シスコのライセンスオフィスに連絡し、変更が必要な場合は、ライセンス ファイルの再発行を受けてください。

### インポートされた 9.x 以前のデータがある新規インストール

9.0 より前の DLU またはライセンス情報がリリース 9.x、10.x、または 11.x VM で使用できない状況では、新規インストール後に移行が必要になることがあります。これは、次の場合に発生する可能性があります。

- UC リリース 8.6 を新しい VM としてアップグレードし、電話データをエクスポートする必要がある
- 新しいリリース 9.x、10.x、または 11.x VM が作成され、電話機データがインポートされている

次の手順を使用すると、新規インストール後に移行を実行できます。この手順では、アップグレード前の製品インスタンスに対して LCU レポートを実行する（まだアクセス可能な場合）か、アップグレード前の製品インスタンスの MAC アドレスが使用可能である必要があります。

## 手順

- ステップ 1** Cisco Prime License Manager の [ライセンス (Licenses)] > [履行 (Fulfillment)] ウィンドウで、[履行オプション (Fulfillment Options)] > [ライセンスの移行 (Migrate Licenses)] をクリックします。
- ステップ 2** [ライセンスを Cisco Prime License Manager に移行 (Migrate Licenses to Cisco Prime License Manager)] ウィザードで、[製品タイプの選択 (Choose Product Type)] セクションのドロップダウンメニューから、アップグレードする製品のタイプとバージョンを選択します。このセクションには、ユーザが選択した製品のタイプによって異なる移行プロセスの説明があります。
- ステップ 3** [次へ (Next)] をクリックします。
- ステップ 4** [製品インスタンスの選択 (Choose Product Instances)] セクションで、[Unified CM 製品インスタンスをさらに表示 (Show additional Unified CM product instances)] の横にあるチェックボックスをオンにします。このオプションを選択すると、以前のバージョンのデータがなくても製品が表示されます。
- ステップ 5** 製品インスタンスを移行するには、[利用可能な製品インスタンス (Available Product Instances)] ウィンドウで製品インスタンスを選択し、矢印をクリックして [移行対象の製品インスタンス (Product Instances to Migrate)] ウィンドウに移動します。[次へ (Next)] をクリックします。
- ステップ 6** [追加情報が必要になります (Additional Information Will Be Required)] ウィンドウの内容を読み終わったら、[続行 (Continue)] をクリックしてウィンドウを閉じます。
- ステップ 7** [ライセンス数 (License Counts)] セクションで、次の情報を入力します。
  - [Public Space 電話 (Public Space Phones)] フィールドに Public Space 電話の台数
  - ケース番号
  - [ライセンス数のユーティリティ レポート (License Count Utility Reports)] : [レポートのアップロード (Upload Report)] ボタンを使用して zip ファイルを選択
  - [MAC アドレス (MAC Addresses)] フィールドに MAC アドレス[次へ (Next)] をクリックします。
- ステップ 8** ライセンス移行要求の zip ファイルをコンピュータにダウンロードします。
- ステップ 9** 提供されたリンクを使用してライセンス移行要求を Cisco のライセンス サポートに電子メールで送信します。
- ステップ 10** [閉じる (Close)] をクリックし、[ライセンス計画 (License Planning)] ウィンドウに戻ります。

## ライセンスの移行のサポート

製品のライセンスには、システムでユーザが設定された時点からの猶予期間があります。Cisco Unified Communications Manager および Cisco Unity Connection の場合、猶予期間は 60 日です。

年中無休の Global Licensing Operations (GLO) チームには、知識豊富なエージェントが揃っています。これらのエージェントがお客様のご要望をお聞きして、最適なサポートを提供できるチームに伝えます。回答は、48 ～ 72 時間以内にご提供します。

移行のサポートを受けるには、次のいずれかのオプションを選択します。

- 次の Web サイトでサービス要求を作成します：<https://tools.cisco.com/ServiceRequestTool/scm/mgmt/case>
- [licensing@cisco.com](mailto:licensing@cisco.com) でサービス要求を作成します (Cisco.com ユーザ ID を含めます)。
- 次の Web サイトに示されている国別番号に電話をかけ、サービス要求を作成します：<http://www.cisco.com/c/en/us/support/web/tsd-cisco-worldwide-contacts.html>



## 第 6 章

# トラブルシューティング

次は、Cisco Prime License Manager の使用時に発生する可能性がある一般的な問題に対処するために推奨されるトラブルシューティング手順です。

- 不明なユーザ名とパスワード, 51 ページ
- 設定の変更が表示されない, 52 ページ
- 不明なエラーの原因, 52 ページ
- 製品インスタンスが追加されない, 52 ページ
- 製品インスタンスが削除されたが、ライセンスの使用状況データに引き続き表示される, 53 ページ
- 製品インスタンスを追加したが、ライセンスの使用状況データに表示されない, 53 ページ
- 製品の管理 GUI のライセンス使用状況データが製品インスタンスのビューと一致しない, 54 ページ
- License Manager がコンプライアンス違反を検出した場合に、コンプライアンス違反アラートが表示されない, 54 ページ
- License Manager に製品の超過が表示されない, 55 ページ
- License Manager を別のサーバで復元後、ライセンスが見つからない, 55 ページ
- ライセンスのアップグレードウィザードを使用してシステムをコンプライアンスに準拠させることができない, 55 ページ

## 不明なユーザ名とパスワード

### 説明

初回インストール時のシステムのユーザ名とパスワードがわからないため、Cisco Prime License Manager にログインできません。

### 解像度

OS 管理者のクレデンシャルを使用してプラットフォーム CLI にログインし、*license management list users* コマンドを実行して Cisco Prime License Manager アプリケーションへのサインイン時に使用するユーザ名を表示します。このユーザ名のパスワードがわからない場合は、*license management change user password* コマンドを実行してパスワードを変更できます。

## 設定の変更が表示されない

### 説明

製品の設定変更を行いました、要求したライセンスの変更が Cisco Prime License Manager に反映されていません。

### 解像度

Cisco Prime License Manager は 24 時間ごとに製品と同期されます。最新の設定変更を確認するには、[ライセンスの使用状況 (License Usage)] レポート ウィンドウの [使用状況の詳細の更新 (Update Usage Details)] で、[製品インスタンス (Product Instances)] を選択し、[今すぐ同期 (Synchronize Now)] をクリックします。

## 不明なエラーの原因

### 説明

[エラーの原因が不明です (The cause of the error is unknown)] というエラー メッセージが表示されます。

### 解像度

詳細については、Cisco Prime License Manager の診断ログを確認してください。診断ログにアクセスする方法については、[診断ログにアクセスする方法](#)、(25 ページ) を参照してください。

これらの詳細でエラーの原因を特定できない場合は、TAC Service Request Tool (<https://tools.cisco.com/ServiceRequestTool/scm/mgmt/case>) を使用してサービス要求を作成してください。有効な Cisco.com ユーザ ID およびパスワードをお手元にご用意ください。あるいは、Technical Assistance Center の主番号 800-553-2447 までお電話ください。

## 製品インスタンスが追加されない

### 説明

Cisco Unified Communications Manager の製品インスタンスを追加しようとしたのですが、401 エラーを受信しました。

### 解像度

CLI コマンド **show accountlocking** を実行して、Cisco Unified Communications Manager アカウントのステータスを確認します。製品インスタンスを追加できるのは、アカウントがロック解除されている場合のみです。アカウントのロックを無効にするには、コマンド **set accountlocking disable** を使用します。

## 製品インスタンスが削除されたが、ライセンスの使用状況データに引き続き表示される

### 説明

製品インスタンスを削除しましたが、[ダッシュボード (Dashboard)] および [ライセンス (Licenses)] > [使用状況 (Usage)] で表示されるライセンスの使用状況データに反映されません。

### 解像度

製品インスタンスを Cisco Prime License Manager から削除した場合は、Cisco Prime License Manager と製品インスタンスが同期されるまでその使用状況データを使用できません。同期は 24 時間間隔で実行されます。または、[今すぐ同期 (Synchronize Now)] ボタンを使用して、[モニタリング (Monitoring)] > [ライセンスの使用状況 (License Usage)] から手動で同期を要求できます。

## 製品インスタンスを追加したが、ライセンスの使用状況データに表示されない

### 説明

製品インスタンスを追加しましたが、[モニタリング (Monitoring)] > [ダッシュボード (Dashboard)] および [ダッシュボード (Dashboard)] > [ライセンスの使用状況 (License Usage)] で表示されるライセンスの使用状況データに反映されません。

### 解像度

製品インスタンスを Cisco Prime License Manager に追加した場合は、Cisco Prime License Manager と製品インスタンスが同期されるまでその使用状況データを使用できません。同期は 24 時間間隔で実行されます。または、[今すぐ同期 (Synchronize Now)] ボタンを使用して、[モニタリング (Monitoring)] > [ライセンスの使用状況 (License Usage)] から手動で同期を要求できます。

## 製品の管理 GUI のライセンス使用状況データが製品インスタンスのビューと一致しない

### 説明

製品の管理 GUI のライセンス使用状況データ ([製品インスタンス (Product Instances)] > [管理 GUI の起動 (Launch Admin GUI)] を選択した場合など) が、製品インスタンス ([製品インスタンス名 (Product Instance Name)] を選択) 内の Cisco Prime License Manager で報告されるライセンス使用状況と一致しません。

### 解像度

製品インスタンスの設定変更は、設定変更後に同期が実行されるまで Cisco Prime License Manager に反映されません。同期は 24 時間ごとに 1 回実行されます。最新の設定変更を確認するには、[ライセンスの使用状況 (License Usage)] レポートウィンドウの [使用状況の詳細の更新 (Update Usage Details)] で、[製品インスタンス (Product Instances)] を選択し、[今すぐ同期 (Synchronize Now)] をクリックします。

## License Manager がコンプライアンス違反を検出した場合に、コンプライアンス違反アラートが表示されない

### 説明

Cisco Prime License Manager がコンプライアンス違反を検出している場合に、コンプライアンス違反アラートが表示されません。

### 解像度

コンプライアンス違反アラートは、Cisco Prime License Manager ではなく、製品インスタンスによって生成されます。製品でコンプライアンス違反アラートがサポートされていることを確認してください。製品でコンプライアンス違反アラートがサポートされている場合は、その製品の GUI で設定する必要があります。たとえば、Cisco Unified Communications Manager の管理インターフェイスでは、アラートを発行する条件および方法を指定できます。したがって、Cisco Unified Communications Manager のコンプライアンス違反アラートが表示されない場合は、Cisco Unified Communications Manager にコンプライアンス違反アラートが設定されていることを確認する必要があります。これが設定されていない場合、アラートは管理インターフェイスで確認できますが、選択した方法 (電子メール、SNMP、syslog) で受信することはできません。

## License Manager に製品の超過が表示されない

### 説明

製品を見ると超過していますが、Cisco Prime License Manager に超過が表示されません。

### 解像度

製品インスタンスが Cisco Prime License Manager と同期できない場合、ライセンスが利用可能かどうかを確認できないため超過になります。[インベントリ (Inventory)] > [製品インスタンス (Product Instances)] で、製品インスタンスが最後に同期された日時を確認してください。同期されていない場合は、製品インスタンスに対する Cisco Prime License Manager のクレデンシャルが正確であり、Cisco Prime License Manager と製品インスタンスがネットワーク接続されていることを確認します。

## License Manager を別のサーバで復元後、ライセンスが見つからない

### 説明

Cisco Prime License Manager を別のサーバで復元しましたが、ライセンスがありません。

### 解像度

別の仮想サーバに Cisco Prime License Manager を移動する場合は、新しいサーバでライセンスを再ホストして、再インストールする必要があります。TAC Service Request Tool を使用してサービス要求を開く (<https://tools.cisco.com/ServiceRequestTool/scm/mgmt/case>) か、次の手順について [licensing@cisco.com](mailto:licensing@cisco.com) まで電子メールを送信してください。有効な Cisco.com ユーザ ID およびパスワードをお手元にご用意ください。あるいは、Technical Assistance Center の主番号 800-553-2447 までお電話ください。

## ライセンスのアップグレードウィザードを使用してシステムをコンプライアンスに準拠させることができない

### 説明

[ライセンス (Licenses)] > [計画 (Planning)] > [ライセンス追加計画の作成 (Create an Add Licenses Plan)] ウィザードで、システムをコンプライアンスに準拠させることができません。

ライセンスのアップグレードウィザードを使用してシステムをコンプライアンスに準拠させることができない

### 解像度

Cisco Prime License Manager の管理対象の製品インスタンス全体で使用しているライセンス数が、インストール済みライセンスと、アップグレード中の製品インスタンスで利用可能なライセンスの合計数を超える場合は、アップグレードするライセンス数が足りないため、Cisco Prime License Manager をコンプライアンスに準拠させることができません。必要に応じてライセンスを追加購入するか、設定を変更して製品インスタンスで必要とされるライセンス数を減らします。



- 
- (注) [ライセンス追加計画の作成 (Create an Add Licenses Plan) ]ウィザードの[ライセンス数 (License Counts) ]ウィンドウから、[コンプライアンスチェックの実行 (Run Compliance Check) ]ボタンをクリックします。「コンプライアンス チェックに合格しました (Compliance Check Passed) 」というメッセージが表示された場合は十分な数のライセンスがあり、[次へ (Next) ]をクリックしてウィザードの次のウィンドウに移動できます。詳細については、次を参照してください。 [ライセンス計画の作成](#)、(33 ページ)
-



付録

# A

## Cisco Prime License Manager CLI コマンド

---

- [はじめに, 57 ページ](#)
- [license file, 57 ページ](#)
- [license management change user name, 58 ページ](#)
- [license management reset user password, 59 ページ](#)
- [license management list users, 59 ページ](#)
- [license management product re-register all, 60 ページ](#)
- [license management reset, 60 ページ](#)
- [license management security update, 61 ページ](#)
- [license management service, 61 ページ](#)
- [license management set log level, 62 ページ](#)
- [license management show log level, 63 ページ](#)
- [license management show system, 64 ページ](#)
- [license management system remove, 64 ページ](#)

### はじめに

ここでは、Cisco Prime License Manager に固有のコマンドを記載します。プラットフォーム固有のコマンドについては、『[Command Line Interface Guide for Cisco Unified Communications Solutions](#)』を参照してください。

### license file

このコマンドは、リストからライセンス ファイルを選択するよう求めます。

**license file {diagnose| get}**

## 構文の説明

パラメータ	説明
<b>diagnose</b>	選択したファイルの診断情報を印刷します。
<b>get</b>	システム上のライセンス ファイルの TAR ファイルを作成し、リモートエリアに TAR ファイルを転送します。

## コマンド モード

管理者 (admin:)

## 要件

コマンド特権レベル : 1

アップグレード時の使用 : 可能

適用対象 : Enterprise License Manager、Cisco Prime License Manager

## license management change user name

このコマンドは、パラメータを対話形式で取得し、管理者のユーザ名を変更します。

**license management change user {name}**

## 構文の説明

パラメータ	説明
<b>name</b>	管理者ユーザ名を指定します。

## コマンド モード

管理者 (admin:)

## 要件

コマンド特権レベル : 1

アップグレード時の使用 : 可能

適用対象 : Enterprise License Manager、Cisco Prime License Manager

## license management reset user password

このコマンドは、パラメータを対話形式で取得し、管理者のパスワードを変更します。

**license management reset user {password}**

### 構文の説明

パラメータ	説明
password	管理者パスワードを指定します。

### コマンドモード

管理者 (admin:)

#### 要件

コマンド特権レベル : 1

アップグレード時の使用 : 可能

適用対象 : Cisco Prime License Manager

## license management list users

このコマンドは、管理ユーザをリスト表示します。

**license management list users**

### コマンドモード

管理者 (admin:)

#### 要件

コマンド特権レベル : 1

アップグレード時の使用 : 可能

適用対象 : Enterprise License Manager、Cisco Prime License Manager

## license management product re-register all

このコマンドは、この Enterprise License Manager または Cisco Prime License Manager サーバと関連付けられているすべての製品インスタンスの再登録を強制します。このコマンドでは、すべての製品インスタンスの再登録と同期が完了するまでに時間がかかることがあります。

### license management product re-register all

#### コマンドモード

管理者 (admin:)

#### 要件

コマンド特権レベル : 1

アップグレード時の使用 : 可能

適用対象 : Enterprise License Manager、Cisco Prime License Manager

## license management reset

このコマンドは、ID、保存データをリセットし、基本的にすべてのインストール済みライセンスを削除します。また、変更を有効にするために Cisco Prime License Manager サーバプロセスを再起動します。

### license management reset {identity| registration}

#### 構文の説明

パラメータ	説明
<b>ID</b>	ID をリセットします
<b>registration</b>	登録をリセットします

#### コマンドモード

管理者 (admin:)

#### 要件

コマンド特権レベル : 1

アップグレード時の使用 : 可能

適用対象 : Enterprise License Manager、Cisco Prime License Manager

## license management security update

このコマンドは、指定されたリモート サーバ上の場所から Cisco Prime License Manager のセキュリティ更新をダウンロードし、指定されたセキュリティ更新ファイルの内容をインストールします。

### license management security update

#### 要件

コマンド特権レベル : 1

アップグレード時の使用 : 可能

適用対象 : Enterprise License Manager、Cisco Prime License Manager

## license management service

このコマンドは、Cisco Prime License Manager サーバの特定のサービスをアクティブまたは非アクティブにします。

### license management service {activate| deactivate}

#### 構文の説明

パラメータ	説明
<b>activate</b>	Cisco Prime License Manager サーバの特定のサービスをアクティブにします。
<b>deactivate</b>	Cisco Prime License Manager サーバの特定のサービスを非アクティブにします。

#### コマンドモード

管理者 (admin:)

#### 要件

コマンド特権レベル : 1

アップグレード時の使用 : 可能

適用対象 : Enterprise License Manager、Cisco Prime License Manager

# license management set log level

## license management set log level core\_services

このコマンドは、コア サービスのログ レベルを設定します。

**license management set log level core\_services {error| warning| info| debug}**

### 構文の説明

パラメータ	説明
<b>error</b>	重要なランタイム エラーまたは予期しない状態を表示します。
<b>warning</b>	潜在的な問題に関するメッセージを表示します。
<b>info</b>	役立つ一般情報を表示します。このパラメータは、デフォルトで設定されます。
<b>debug</b>	プロセスのフローに関する詳細情報を表示します。このパラメータは、必要な場合にのみ使用することを推奨します。

### コマンドモード

管理者 (admin:)

#### 要件

コマンド特権レベル：1

アップグレード時の使用：可能

適用対象：Enterprise License Manager、Cisco Prime License Manager

## license management set log level product\_instances

このコマンドは、製品インスタンスのログ レベルを設定します。

**license management set log level product\_instances {error| warning| info| debug}**

### 構文の説明

パラメータ	説明
<b>error</b>	重要なランタイム エラーまたは予期しない状態を表示します。

パラメータ	説明
<b>warning</b>	潜在的な問題に関するメッセージを表示します。
<b>info</b>	役立つ一般情報を表示します。このパラメータは、デフォルトで設定されます。
<b>debug</b>	プロセスのフローに関する詳細情報を表示します。このパラメータは、必要な場合にのみ使用することを推奨します。

---

## コマンドモード

管理者 (admin:)

### 要件

コマンド特権レベル : 1

アップグレード時の使用 : 可能

適用対象 : Enterprise License Manager、Cisco Prime License Manager

# license management show log level

## license management show log level core\_services

このコマンドは、コア サービスの現在のログ レベルを表示します。

**license management show log level core\_services**

---

## コマンドモード

管理者 (admin:)

### 要件

コマンド特権レベル : 1

アップグレード時の使用 : 可能

適用対象 : Enterprise License Manager、Cisco Prime License Manager

## license management show log level product\_instances

このコマンドは、製品インスタンスの現在のログ レベルを表示します。

**license management show log level product\_instances**

---

コマンドモード

管理者 (admin:)

## 要件

コマンド特権レベル : 1

アップグレード時の使用 : 可能

適用対象 : Enterprise License Manager、Cisco Prime License Manager

## license management show system

このコマンドは、管理ユーザをリスト表示します。

**license management show system**

---

コマンドモード

管理者 (admin:)

## 要件

コマンド特権レベル : 1

アップグレード時の使用 : 可能

適用対象 : Enterprise License Manager、Cisco Prime License Manager

## license management system remove

このコマンドは、共存配置から未使用の Cisco Prime License Manager インスタンスを排除できるようにします。

**license management system remove**

---

コマンドモード

管理者 (admin:)

## 要件

コマンド特権レベル : 0

アップグレード時の使用 : 可能

適用対象: Cisco Prime License Manager

license management system remove